

# 平成29年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

## 2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

## 1 全事業共通

### 地域の現状と課題について

#### 1. 地域の現状

エリアには、旭区役所や旭区社会福祉協議会をはじめ、多くの福祉施設、介護保険事業所、病院・医院、薬局、小学校、中学校があります。

生活動線や交通アクセスは、駅周辺の商業地域については利便性が高く、問題はありませんが、坂が多く交通手段の少ない住宅地域については高齢者、障がい者の移動が地域の課題として挙げられています。エリアは比較的広く、住民は鶴ヶ峰駅を中心に二俣川駅、西谷駅と3駅利用されています。相鉄線は東急やJRとの直結工事が進められており、都心へのアクセスが向上すること、そして鶴ヶ峰駅の北口再開発も予定されていることから、子育て世代の転入増が予想されましたが、今年度の推移は減少に転じています。

エリアの住民は総人口32,666人(平成30年3月末時点)と、1年で112名増えており、特に65歳以上の増加が著しいです。世代別の人口(カッコ内前年比)は、

乳幼児(0~6歳)	1,859人(+24人)	5.7%(+0.1%)	旭区 5.1%
学齢児(7~14歳)	2,055人(+24人)	6.3%(+0.1%)	旭区 6.8%
子育て世代(25~44歳)	8,137人(-257人)	24.9%(-0.9%)	旭区 22.8%
高齢者(65歳~)	8,601人(+110人)	26.3%(+0.1%)	旭区 28.7%

となっており、高齢化率は区全体から見ると低いですが、昨年度よりも若干上昇しました。

町別では、小高町の高齢化率が37.0%とエリアのなかでは一番高齢化が進んでおり、三反田町も30%を超えるなど、駅から比較的距離のある地域で高齢化が進行しています。

一方、若年層の比率では、鶴ヶ峰本町、西川島町、今川町の乳幼児率は6%台、子育て世代は26~28%と区平均よりも高く、若い世代が他から転入している状況があります。

このような地域においては、それぞれの課題に応じたきめの細かい事業展開が必要であると考え事業展開を行いました。

#### 2. 課題

地域では高齢化が徐々に進み平成30年3月末時点で、旭中央地区:26.1%、鶴ヶ峰地区:26.8%となりました。その為、高齢化の進行に伴い、高齢単独世帯や高齢者のみの世帯数も増加していると考えられます。

このような社会・家族形態の変化に伴い孤立死防止、大規模災害時の対応(課題1)や認知症の方を地域で支える仕組み(課題2)が求められています。そして、核家族化が進行した結果、高齢者だけでなく、乳幼児とその親や、障がい児・者の支援者がいない(課題3)という状況も増えてきています。

平成29年度も前年同様、高齢者等年間2,200件を超える相談を受けていますが、人とつながる充実した生活(課題4)を望む声が多くありました。また健康の維持(課題5)や安全な街(課題6)など生命、財産に関する内容も数多く受けました。

これらの多様なニーズに応える為にも個別支援をしっかりと行うとともに、エリア全体、連合及び単位自治会・町内会、集合住宅ごとの課題を分析し、課題解決の為に、地域の方々・関係機関等と一層連携した事業を展開（課題7）していきます。また、地元企業や店舗も含めた地域包括ケアシステム構築を進め、自助・共助・公助の連携がとれた地域（課題8）を目指しました。

このような上記課題に対応する為、各部門の職員それぞれが、地区の特長に合わせた取組や事業の充実を図り、鶴ヶ峰、旭中央、両地区の目指すべき姿（『垣根のないまち／鶴ヶ峰全体の地域力 UP！（鶴ヶ峰地区）』、『コミュニケーションが活発なまち（旭中央地区）』）に近づけることができるように努めました。

具体的な内容は各部門の項目に列記いたしますが、旭区内の施設で初の特別避難場所訓練の開催（課題1）や、認知症啓発のほっとちゃんマーク更新に伴う独自ステッカーの配布（課題2）、単一町内会を対象にした全戸配布アンケートの実施（課題7）など、地区の特長や課題に合った事業に積極的に取り組みました。

第3期地域福祉保健計画も2年目が終了し、計画を少しずつ実行に移していく時期であるため、次年度も地区の皆さんの声を伺いながら、関係機関とともに、地区の課題解決に積極的に取り組んでまいります。

また、平成30年5月開所の『二俣川地域ケアプラザ』への担当移行がスムーズにいくよう、旭中央地区の皆さんをはじめ、二俣川地域ケアプラザ開設準備室のスタッフ、区役所等と、こまめに連携を行い準備に努めました。

#### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

(1) 身近な福祉保健の相談窓口として、高齢・子ども・障がい分野の相談を受けていることを地域の方々にご理解頂く為に地域に出向き、広報・周知を行いました。

(2) 福祉の総合相談窓口として、関係機関（旭区役所、横浜市基幹相談支援センター、等）・関係団体（旭区社会福祉協議会、旭区子育て広場「ぽけっと」、旭区地域生活支援拠点「ほっとぽっと」、福祉保健活動団体等）・関係職種（弁護士、司法書士、行政書士等）との連携を図り、適切な相談対応を行いました。

(3) 窓口には、「地域活動紹介一覧」や「相談窓口対応資料」等を常に新しいものに更新し、職員の誰もが適切に対応出来るようにしました。

#### (2) 各事業の連携

(1) 貸館利用者や自主事業参加者の高齢化が見られ、参加者の方より個別相談を受ける事が多くありました。その結果、地域活動交流、生活支援、地域包括支援センターが連携し対応に当たり、医療機関や介護保険の申請などに繋ぐことができました。

(2) 保健活動推進員から「30歳～40歳代の若年層の健康意識が低い」という相談を受け、「かるがもサロン」に参加する子育て中の母親を対象に体力測定、健康相談会を行いました。（34人）今年度は旭中央地区の子育て支援「かみふうせん」を運営している民生委員・児童委員の方からの依頼を受け区子ども家庭支援課、福祉保健課健康づくり係の保健師と共に健康相談会を実施しました。（11人）その結果、筋力の指標となる握力の低下が顕著である事が分かりました。若い頃から、筋力の維持向上に努めていく健康づくりの必要性を感じました。

タワーマンションの「歌声ひろば」をきっかけに毎週木曜日を木曜サロンとし、趣味のサークル活動の場を住民自ら立ち上げマンション内の交流の場となっています。引き続き後方支援に努めます。

地域アセスメントを行なう中で鶴ヶ峰地区、旭中央地区とともに高齢化が進み、坂道が多いことなどから、買い物出来る場所も近隣になく、孤立する高齢者が増加しています。地域包括支援センター、地域活動交流と連携し、ニーズ調査を行なうことで地域のセーフティネットの形成を行なっていきます。今年度は単一の町内会をモデル地区とし、アンケ

ート調査を実施しました。

2月10日 単一の町内会へアンケートを全戸配布し、370世帯中234世帯回収することが出来ました。また、同町内会の子ども会にもアンケートを配布。50世帯中27世帯回収することが出来ました。

(3)毎月開催する5職種会議以外でも席の配置を工夫し日常的に情報交換が行えるよう声を掛けあうと共に、出席した会議などで得た情報に関しては、記録に残し、共有できる様に工夫しました。

### (3)職員体制・育成、公正・中立性の確保

(1)専門職を配置し委託事業を適切に実施しました。介護保険事業については人員配置基準を遵守し業務を行いました。とくに今年度は、産休・育休を取得する職員が2名おりましたが、適切な人員体制を確保する事ができました。

(2)各職員の担当業務に限らず、お互いさまの姿勢でケアプラザ職員として互いの業務を知り支援できるフォローシップ体制を組み、サービス向上を図りました。

(3)専門職であることを自覚し、常にサービス向上と専門性向上を目指し研修に参加しました。

①法人及びケアプラザがそれぞれ年間研修計画を作成し職種・職位ごとに効果的に実施しました。

②福祉の総合的な力を習得させる為、専門以外の分野研修にも積極的に参加しました。

③研修受講者に報告書作成や伝達研修を行わせることで、更に理解が進むよう、全体への共有及びレベルアップを図りました。

④日常業務における新人研修はOJTを中心に実施し、定期的な振返りの場を設けることで、一貫性のある指導を丁寧に行いました。

(4)年度はじめに行動目標プランを作成し、中間・期末で評価しました。(職員の育成にもPDCAサイクルを行いました。)

(5)管理者は定期的に職員のレベルを把握する面接を行い、スーパーバイズし育成しました。特に、事故や苦情が起きた際は、振返りを必ず実施し再発防止と業務改善に繋がるよう、全体に周知・共有し振返りを行いました。

(6)日々の業務中に起こる嬉しい出来事を「ニコリホット報告書」でまとめ、福祉職としての喜び・誇りを感じながら、自らの成長につなげる環境を整えました。

### (4)地域福祉保健のネットワーク構築

(1)消費生活推進員、かがやきクラブ旭、鶴ヶ峰地区東、西民生委員・児童委員協議会、旭中央地区民生委員・児童委員協議会、ふれあいサロン総会、鶴ヶ峰地区連合町内会会長会、旭中央地区町内会会長会、両地区単一町内会・役員会、旭中央地区社会福祉協議会総会、各地域のお祭り、旭区地域医療・介護支援者意見交換会等に参加し、地域とのネットワーク作りと、資源発掘、最新のニーズ把握に努めました。

(2)12月6日「鶴ヶ峰地区ささえあい連絡会」で第6ブロックの高齢化についてマッピング研修を実施。課題の抽出、共有を鶴ヶ峰地区社会福祉協議会、旭区役所、旭区社会福祉協議会、ケアプラザで行うことができました。

(3)お互いにボランティアの受け入れや紹介を行い、連携強化に努めました。

(4)旭区役所、旭区社会福祉協議会と連携し、「鶴ヶ峰地区ささえあい連絡会」「旭中央FH会議」「鶴ヶ峰地区障がい者作業所分科会」等、地域支援へと繋げていけるよう検討、連携していくことができました。

旭区社会福祉協議会と地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターで定期的に地域支援会議を実施しました。鶴ヶ峰地区社会福祉協議会会長にも参加していただき、地域課題の共有、取り組みについて検討していくことが出来ました。

旭区役所各課(福祉保健課、こども家庭支援課、高齢・障害支援課、生活支援課)と旭区社会福祉協議会との関係機関連絡会は2月28日に開催し各課の抱えている課題を共有することが出来ました。(22人)

(5)単一の町内会でニーズ調査を行ない、その結果を元に地域住民と話し合う場を協議体

として、次年度平成 30 年 5 月 20 日開催予定です。

#### (5) 区行政との協働

(1) 『きらっとあさひプラン』基本目標を念頭に置き、旭区役所と連携し以下の様な取り組みを行いました。

##### 【推進の柱 1：地域の福祉力アップ】

###### ア、地域の実情に応じた取り組み

- ・ 鶴ヶ峰地区障がい者地域作業所連絡会（平成 30 年 3 月 20 日開催）
- ・ 鶴ヶ峰地区子育て支援連絡会（平成 30 年 1 月 19 日開催）
- ・ 高齢者福祉入居施設連絡会（7 月 31 日開催）

###### イ、地域・関係機関・行政のネットワークの強化

- ・ 鶴ヶ峰地区支えあい連絡会

（5 月 30 日、9 月 5 日、12 月 6 日、平成 30 年 1 月 29 日開催）

- ・ 旭中央地区 F H 会議

（11 月 10 日 平成 30 年 3 月 14 日開催）

- ・ 関係機関連絡会

（平成 30 年 2 月 28 日開催）

###### ウ、福祉保健の啓発の推進

- ・ 高齢者昼食会地域サロン連絡会

（平成 30 年 3 月 23 日開催）

- ・ 介護予防活動グループ連絡会

（平成 30 年 3 月 22 日開催）

##### 【推進の柱 2：安心して自分らしい生活ができる地域づくり】

###### ア、見守り体制の充実、孤立の防止

- ・ 地域での出張相談会の開催

「横浜鶴ヶ峰病院」7 月 28 日開催

「サロン折鶴」7 月 27 日開催

「高齢者住宅クレインティアラ」8 月 25 日開催

「三和鶴ヶ峰店」10 月 24 日開催

「クリオレジダンスタワー横濱鶴ヶ峰」

平成 30 年 1 月 25 日開催

- ・ 地域サロン、老人クラブ、自治会町内会催事に参加。各福祉関係団体への定例会参加での関係作り

- ・ 鶴ちゃんコール（高齢者へのお変わりないですか）の実施

###### イ、認知症をみんなで支えるまちづくり

- ・ 認知症をみんなで支えるまちづくり検討会@鶴ヶ峰地域ケアプラザ

（6 月 8 日、平成 30 年 1 月 15 日開催）

- ・ 認知症サポーター養成講座の開催

（5 月 11 日、6 月 8 日、6 月 22 日、7 月 13 日、9 月 30 日、10 月 3 日 平成 30 年 3 月 16 日開催）

###### ウ、権利擁護事業の推進

- ・ 成年後見制度講演会

「終活講座」（12 月 13 日開催）

- ・ 街頭消費者被害撲滅キャンペーン

（6 月 15 日開催）

###### エ、災害時における特別避難所としての訓練の実施（11 月 30 日開催）

###### オ、生活に困難を抱える方々の支援

- ・ ユースプラザと連携した事業展開

（ユースプラザ学習支援事業 10 月 26 日、平成 30 年 1 月 11 日、2 月 22 日開催）

##### 【推進の柱 3：地域の取り組みで元気力アップ】

###### ア、健康づくりの多彩な推進

- ・ みな元気・旭

- ・ふれあいサロン
- ・ひまわり会
- ・鶴ヶ峰本町いきいき生活講座
- ・小三長寿グランドゴルフ部
- ・元気づくりステーション
  - ・ローズサークル
  - ・柵谷公園健幸クラブ
  - ・四季美台健康づくり教室立ち上げ予定  
各団体の後方支援に努めました。
- ・若い世代の健康づくり講座  
(歩き方講座 5月22日 11月6日開催)
- ・子育てサロンにて母親向けの体力測定、  
健康相談会の実施  
(かるがもサロン6月1日、かみふうせん9月25日開催)
- イ、子どもたちが健やかに育つまちづくり
  - ・かるがもサロン
  - ・親子で参加できる食育講座の開催
  - ・地域の子どもたちへのオープンスペースの開放(平均10人/日)
  - ・福祉教育でのケアプラザ訪問で存在を知り、来所する児童も増加しました。なごみラウンジでは小学生来館(7人/日)多いときは利用人数が20人となる日もあり、地域の児童にケアプラザが「オープンスペース」として周知されており、多世代交流の場としても機能し始めており、新しい出会いの場となっています。
  - ・おせち作り教室を開催し、親子が調理をすることで日本文化を学び、ボランティアと小学生の多世代交流を図りました。(12月10日開催)
- ウ、意欲や経験を発揮できる場づくり  
福祉の人材・ボランティア育成
  - ・コーヒー講座受講者によるボランティア活動として月に一度のペースで当ケアプラザのデイサービスでコーヒーのサービス講座を実施、今後のボランティア先の開拓について話し合いました。今後はデイサービス以外の高齢者の方々へのコーヒーボランティア活動も行う予定です。
  - ・サンタクロース講座受講者による近隣保育園やサロンへのサンタボランティア活動。新たに今年度は、生活困窮家庭の児童(10数人)が参加するクリスマス会で民生委員、区役所こども家庭支援課と協働し、活動を実施、子どもたちも大変喜んで好評を得ました。次年度は保育園、幼稚園以外にもこのような行政と連携した活動の場作りも行う予定です。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

きらっとあさひプランを念頭に、地域の誰にでも開かれた施設を目指し、以下の事業を実施しました。

#### 【幼児・保護者向け事業】

「レッツ・エンジョイ・リトミック」「かるがもサロン」「親子で遊ぼう」「みんなで作ろうわいわいクッキング」「母の日フラワーアレンジメント」「ベビーヨガ講座」

#### 【障がい児・者向け事業】

「クローバーズ」「ポッチャクラブ」「えくぼ教室」「鶴ちゃん喫茶」「街のパティシエとバレンタインクッキーを作ろう」

#### 【シニア向け事業】

「ミニサロン紫陽花」「カルチャー広場」「思い出を語る会(回想法)」「平成30年1月から2月開催」「ふれあいサロン」

#### 【地域向け事業】

「ふれあいまつり」「鶴ピカ大作戦」「合同歌声喫茶・2017」「サンタクロース講座」

#### 【団塊の世代向け事業】

「男の料理教室」(3月開催)「美文字講座」(8,11月開催)「歩き方教室」(11月開催)  
【その他】  
「認知症サポーター養成講座(鶴ヶ峯小学校3年生など)」  
「おせち作り教室」の開催。  
「保存食講座」グラノーラ講座(4月開催)みそづくり講座(平成30年1月開催)

地域で活躍している方たちを講師に招き、様々な事業を通じて、地域住民の多様なニーズに応え、多くの方に足を運んで頂きました。

## (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

(1) 地域の幼稚園、保育園、サロン、施設などに、登録しているボランティアの派遣を行いました。

また、合同歌声喫茶の記録写真ボランティアとしてカメラボランティアグループ「ワンショットクラブ」のコーディネートを行い、福祉保健団体の活動の場の支援に取り組みました。

(2) PRボックスに福祉保健活動団体を紹介するコーナーを設け、地域に向けて情報提供を行いました。その結果新たな参加者が増えたり、近隣福祉施設へのボランティア活動に繋がったりと、活動の幅を広げることができました。

(3) 9回目となる「ふれあいまつり」では1000人以上の来所があり、地域に根付いている事を実感出来ました。貸室をご利用頂いている福祉保健活動団体の発表や、エリア内にある障がい者地域作業所の作品販売など、広く地域の方々に活動を知って頂く良い機会となりました。

また、今年度の新しい取り組みとして、地域作業所は作品販売だけでなく、体験コーナーを設け、一緒に作業を楽しむことが出来ました。毎年新しい試みを行う事により、多くの団体や施設とのつながりが生まれました。

(4) (5) 地域版広報紙「千羽鶴」に福祉保健活動団体の紹介コーナーを設けた事により、地域の方から「参加したい」との問い合わせがあり、地域活動参加への良いきっかけ作りとなりました。

## (3) ボランティアの育成及びコーディネート

(1) 自主事業に参加された方が、地域活動やボランティアに繋がるようコーディネートしました。

コーヒー講座受講者は講座終了後、通所介護でのボランティア活動だけでなく、今後は介護者カフェ等活動の場所を広げていく予定です。

(2) 各団体・個人の活動の個性を活かしたコーディネートを行った結果、ケアプラザ内に留まらず、地域のサロンや保育園など、活動の場が広がりました。

(3) 平成30年3月10日に開催の「ボランティア交流会」では、ボランティア同士の情報交換や相互理解がスムーズに行えるよう、活動紹介の時間を設けるとともに、日頃の活動への感謝の気持ちをお伝えする事で、モチベーションの向上を図りました。

また、団体にアンケートを実施し、ボランティアの立場からの活動への要望や、ボランティア育成に関する意見をうかがい、事業運営につなげることができました。

(4) ケアプラザの自主事業から立ち上がった「コーヒーサークルハンドドリップ」を対象に、スキルアップ講座を開催しました。当日はサークルの活動に興味がある地域の方も参加され、その後サークル活動に新たに1名が参加する事となり、地域活動へ繋がるよい機会となり、順調に活動を行なうことができました。

(5) 旭区社会福祉協議会やみなくる、区内のケアプラザと連携し、ボランティアの受け入れ・情報の共有を行いました。また、ボランティア同士の交流の機会を持つなど施設間のネットワーク作りに努めました。

(6) 団塊の世代男性を対象とした料理教室を開催し、地域での仲間作り支援を行いました。講座で習ったレシピを家庭でふるまう男性もおり、家庭内での団欒にも役立つ講座となりました。次年度はこの講座の参加者がメニューやレシピを考えて料理を楽しむ自主化

したサークルとして活動することができるよう支援していきます。

(7) 鶴ヶ峰小学校3年生を対象とした福祉教育プログラムは5年目をむかえ、認知症サポーター養成講座など様々な内容を提供する事ができています。またジュニアボランティアの活動の場所として、通所介護の夏祭り行事や、ケアプラザまつりの模擬店協力などをコーディネートする事ができました。

また、3年次にケアプラザと交流した鶴ヶ峰小の子ども達が、放課後に情報コーナーに遊びに来るようになっていました。現在は、ゲームやカード遊びなど、子どもたちだけの交流となっておりますが、今後、多世代交流の場として働きかけを行っていく予定です。

#### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

(1) 「鶴ヶ峰地区地域支えあい連絡会」「旭中央地区FH計画推進会議」をはじめ、地域の会合や行事に参加した際に得た情報は、議事録などの記録に残し、回覧や会議などで報告し、5職種及び他職種とも共有できるようにしました。

(2) 全ての職員が地域の方の問い合わせに対応できるように、窓口インフォーマルサービスをまとめたファイルを置き、スムーズな対応ができるよう整備しました。

(3) 広報紙は年度計画通りの発行ができ、チラシ等も適宜地域回覧を行い、事業の周知に努めました。また、フリーペーパーも活用し、情報の発信を行いました。

(4) ホームページでは事業の開催案内、ブログでは事業やボランティアの方々の活動の様子を伝える等、内容に合わせて広報媒体を変え、ケアプラザ事業を分かりやすく伝える工夫を行い、ボランティアや地域活動に興味を持って頂けるように努めました。

(5) 月ごとの事業予定一覧をエントランスへ掲示し、来館者より分かりやすいと好評を得ています。

(6) ボランティア登録し、活躍して頂いている方々をお招きし、日頃の感謝の意を表すと共に、ボランティア同士の情報交換・交流の機会となるよう、平成30年3月10日に「ボランティア交流会」を開催しました。ボランティアとして活動してくださっている方々が一堂に会し、スタッフと交流することで双方の理解が深まり、今後のケアプラザにおけるボランティア活動の発展の場となりました。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

(1)(2) 単一の自治会・町内会定例会、地域サロンに参加する事により会長、役員だけでなく、一般住民に対してのニーズを把握することが出来ました。

その中で「隣近所の人の方が分からない」「若い世帯との繋がりを作っていく必要がある」「どのように声を掛ければよいのか分からない」という声が聞こえました。今後の地域支援として多世代への繋がりづくりの必要性を感じました。

(自治会・町内会 15箇所、地域サロン 8箇所)

(3) 地域アセスメントを行なう中で鶴ヶ峰地区、旭中央地区ともに高齢化が進んでいる事や、地域には坂道が多く、買い物出来る場所も近隣にないため、閉じこもり、孤立する高齢者が増加するのではないかと感じられました。地域包括支援センター、地域活動交流と連携し、ニーズ調査を行なうことで地域のセーフティネットの形成を行なっていきます。今年度は単一の町内会をモデル地区とし、アンケート調査を実施しました。

また、地域包括支援センターと連携し、単一の自治会町内会定例会での周知活動、出張相談会に参加し、ケアプラザ、生活支援体制整備事業の周知理解、課題の抽出を行ない、個別支援の相談、地域支援へと繋げました。

(自治会・町内会 15箇所、出張相談会 3箇所)

(4) 旭区内にある居宅介護支援事業所を訪問。鶴ちゃんページを配布して地域資源の情報の提供、地域との連携の必要性を伝え、理解を得ることができました。その中で買い物代行、要介護認定者を受け入れているサロンを紹介し、ケアプランへの位置づけ、地域と要支援を必要とする人との繋がりを作ることが出来ました。

(居宅介護支援事業所 エリア内 8箇所 エリア外 5箇所)

(5)旭区生活支援コーディネーター連絡会で第1層生活支援コーディネーターが行なう勉強会、研修会に参加し、地域支援を行う上でのスキルアップを図りました。  
区域でボランティア活動を行なっている「あさがお協力隊」よりケアプラザ、生活支援体制整備事業について知りたいと問い合わせがあり、他ケアプラザと合同で、ケアプラザの役割、生活支援体制整備事業について説明しご理解をいただきました。

## (2)地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

(1)「鶴ヶ峰地区支えあい連絡会」「旭中央地区FH計画推進会議」等が出された課題に対して生活支援体制整備事業の必要性を伝え、理解を得ることが出来ました。

「鶴ヶ峰地区支えあい連絡会」では12月6日にマッピング研修を通じて第6ブロックの高齢化について話し合い、支えあい連絡会役員だけでなく、第6ブロック町内会長、かがやきクラブ旭会長、民生委員、保健活動推進員と課題を共有することができました。

「旭中央地区FH計画推進会議」ではコミュニティバス「四季巡り号」の乗客が減少している問題について話し合いました。その問題に対して5職種で話し合い、3月の広報紙千羽鶴に「四季めぐり号」の紹介記事を掲載しました。

(2)5職種でアセスメントシートを作成し、地域課題を明確にすることが出来ました。その課題に対しての地域支援へと繋げました。

(3)地域活動に参加する中で新たなインフォーマルサービスの情報を得て、鶴ちゃんページの更新をしました。

鶴ちゃんページ団体

(訪問・家事支援 3団体)(介護予防・健康づくり 13団体)(食事・社会交流 7団体)

(趣味・社会交流 10団体)(認知症・介護者カフェ 2団体)(障がい分野 2団体)

今年度は鶴ちゃんマップをより細分化し、アセスメントが出来るよう町内会別のマップを作成。地域に出向き、地域住民と一緒に地図を見ながら課題の共有を行ないました。

(鶴ヶ峰地区 2箇所 旭中央地区 1箇所)

(4)(5)居宅介護支援事業所、NPO法人にヒアリングを行い、専門機関から感じている地域課題(サービスの利用状況、地域との連携、個別支援から感じる地域の課題等)について確認、分析することができました。

(居宅介護支援事業所 13箇所 NPO法人 2箇所)

## (3)連携・協議の場

(1)鶴ヶ峰地区、旭中央地区の食事会、サロンの担い手へ現在の旭区の状況、高齢化率、繋がりづくりの必要性を伝えました。

(2)(3)既存の社会資源の担い手に、現在の活動状況や課題・問題についてヒアリングを行いました。今後、その課題を共有、解決できる場として平成30年3月23日に高齢者食事会地域サロン連絡会を協議体として開催しました。

(4)単一町内会へのニーズ調査を実施。地域包括支援センター、地域活動交流コーディネーターと連携して地域課題を抽出、その中から出てきた課題を地域住民と共有、地域づくりと繋げていく為に5月20日に「地域住民向け報告会」を開催。協議体を実施していく予定です。

単一町内会に向けアンケートを全戸配布。

平成30年2月 説明会、アンケート配布(370世帯)

3月 アンケートの回収・分析

370世帯配布 239世帯回収(回収率64.4%)

子ども会アンケート50部配布 27部回収(回収率54.0%)

5月 アンケート結果説明会

地域住民向け報告会



(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

(1)(2)地域の居宅介護支援事業所に「鶴ちゃんページ」を持って訪問し、地域資源の情報の提供及び、ニーズ調査の中でケアマネジャーから感じる地域課題をヒアリング、地域との連携の必要性を伝え、理解を得ました。その中で多くのケアマネジャーより「地域と繋がることは何よりも大事」という前向きな言葉が出る中、「どのように関わっていいかわからない」という意見も出ており、次年度は地域とケアマネジャーがもっと繋がりを持つような取り組みを行います。

(3)区役所、第1層生活支援コーディネーターと連携し、住民型サービスBを検討しているNPO法人に情報の提供を行いました。

NPO法人 2箇所

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ①地域におけるネットワークの構築

(1)生活支援コーディネーターとともに、地域の組織や団体に出向き、ネットワークの構築を図りました。(15回)

また、入居施設が多い地域特性を活かし「高齢者入居施設連絡会」を開催。相互の施設の取り組みを共有できる場を提供しました。(7月31日8人)

地域の組織や団体の情報は地域資源リストにまとめ、定期訪問時にケアマネジャーに情報提供をしました。

鶴ヶ峰地域ケアプラザエリア内 8箇所

エリア外 5箇所

(2)民生委員・児童委員協議会に参加し、地域の実情や個別ケースについての情報交換を行い、問題ケースについては同行訪問し、支援チームとして働きかけができました。

(3)毎年開催している、民生委員・児童委員とケアマネジャーとの勉強会を平成29年10月18日に開催し、認知症の事例を通して、共に地域で見守ることの重要性を学びました。(57人)

(4)地域の各福祉関係団体に出向き、地域住民に対して、地域包括支援センターや介護保険制度等についての出張講座を開催し理解を深めました。(3回 61人)

(5)昨年度県営アパートにて実施した包括レベルの地域ケア会議で話し合った茶話会を開催し、住民からも好評を得ました。(5月7日10人)

#### ②実態把握

(1)高齢者の食事会(第1~第4鶴の会・旭中央つぶらの会)、サロン(ふれあいサロン、サロン折鶴、きずなの会、サロンほほえみ、おひさまの会)、かがやきクラブ旭等に5職種で積極的に出向き、参加者の状況を把握し、顔の見える関係作りを行いました。(10回400人)

地域活動が継続していけるよう「高齢者食事会地域サロン連絡会」等で課題の解決に取り組んでいきます。

(2)駅前的大型タワーマンションの住宅管理会社、管理組合と連携し、マンション内にあるフリースペースにて、薬剤師を招いての講話と出張相談会を実施し(10月26日 20人参加)実態把握に努めました。平成30年1月25日には、252全戸へ地域包括支援センターのチラシを配布し、相談窓口の周知を継続するとともに、医師を招いての講話と個別相談を開催しました。

鶴ヶ峰ライオンズプラザビル管理会社と連携し、大型スーパー三和にて出張相談会を実施(10月24日 18人)。今後は、入居者の集会所での相談会開催も検討予定。市営住宅200世帯へ地域包括支援センターの相談窓口周知と消費者被害防止のためのチラシとポケットティッシュを全戸配布。(平成30年2月6日)

(3)総合相談のエリア分析を行った結果、高齢者人口の割には大型マンション(3か所)

からの相談が少ないことが分かったため、大型マンションのひとつであるタワーマンションへの出張相談会を実施し実態把握に努めました。集合住宅の孤立化が予想されるため、民生委員や地域関係者と共に連携を図りながら、支援に努めていく予定。

### ③総合相談支援

(1) 地域包括支援センターの周知を図ると共に、関係機関と連携しながら、相談対応に努めました（基幹相談支援センターとの連携 4 件）。また、さらに多くのネットワーク構築に努めました。（薬局、コンビニエンスストア、銀行、理髪店、パン屋、新聞販売店等）  
(2) 個別ケースでは区役所高齢・障害支援課と連携し、同行訪問を行ない継続的支援に努めました。

毎月第 1 水曜日に精神障がい者サロン「鶴ちゃん喫茶」を継続して開催し、8 月にはウクレレ演奏のボランティアを招き、旭区生活教室あさひ会のメンバー（20 人）も加えて開催することができました。

(3) 鶴ちゃんコール登録者（17 人、うち新規 5 人）へ毎月 2 回の見守り電話（302 件）を実施し、必要時は訪問にて様子をうかがい、引き続き安心して暮らして頂けるよう支援に努めました。

(4) 出張介護・医療何でも相談会を開催し、ケアプラザのパンフレット配布や個別相談を実施しました。

サロン折鶴（チラシ 100 部 個別相談 4 人 サロン参加者 13 人 ケアプラザ協力医 たいクリニックの田井医師に講師依頼）、横浜鶴ヶ峰病院（チラシ 80 部 個別相談 8 人 医療相談室との連携）、高齢者住宅クレインティアラ（チラシ 20 部 参加者 5 人 個別相談 4 人 あさひ薬局の薬剤師に講師依頼）、スーパー三和鶴ヶ峰店（チラシ 100 部 個別相談 18 人）、クリオレジダンスタワー横濱鶴ヶ峰（チラシ 252 部 参加者 20 名 個別 2 件）関係機関・団体との連携を図りながら、ケアプラザを利用したことのない方へも広報・周知活動を行うことができました。

## (2) 権利擁護業務

### ①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

(1) NPO 法人へ講師を依頼し、「あなたらしく生きるための終活講座～知っておきたい成年後見制度～」を地域向けに 12 月 13 日に実施し、33 人の参加がありました。新規の方や市民後見人まで、年齢層は 60～80 歳代と様々でしたが、予備知識のある参加者も多くみられ、制度への関心とニーズが高いことがわかりました。次年度も引き続き開催する予定です。

(2) 総合相談の中で、任意後見制度・遺言の相談を受け情報提供し、専門機関への橋渡しをしました。

(3) 認知症の悪化で財産管理等が出来なくなったケースの支援に努め、区役所・専門機関と連携し、カンファレンスなどを行い適切な支援に努めました。申し立てに支援が必要な家族に対し、専門職団体と連携しながら、受診や家庭裁判所へ同行し、制度利用に繋がるように支援しました。

(4) 成年後見申し立てをし、後見人がついた後も継続的に、後見人やケアマネジャーと連携を図り支援に努めました。

(5) エリア内の市民後見人の活動がまだ無いため、成年後見制度サポートネットのほか、自主事業の講座へも参加していただくことで、市民後見人との顔の見える関係づくりに努めました。

(6) (7) 地域の高齢者食事会等に出向き、「あさひ安全・安心かわら版」の情報や実際にエリア内で起きた消費者被害等の情報を伝え、注意喚起を行いました。

横浜信用金庫 鶴ヶ峰支店にて、消費生活推進員と協働で「街頭消費者被害詐欺撲滅キャンペーン IN 横浜信用金庫」を年金支給日に合わせて 6 月 15 日に開催しました。当日は 200 部の啓発チラシ・グッズを配布し、啓発活動と相談場所の周知を行うことができました。また、地域活動交流事業サンタクロース講座では旭警察署署員によるオレオレ詐欺被

害についての講話を受講後、サンタウオークで消費者被害に関するチラシを配布し、地域住民に対して同被害を未然に防ぐ活動を行いました。  
今までの啓発活動が評価された結果、9月8日に「第48回地域安全県民のつどい（神奈川県防犯協会連合会・神奈川県警察主催）」にて表彰されました。

## ②高齢者虐待への対応

(1) 地域活動交流事業サンタクロス講座では、サンタウオークで高齢者虐待に関する相談窓口と注意喚起のケアプラザ独自のチラシとポケットティッシュ 200 個を配布し、地域住民に対し高齢者虐待に関する普及啓発をしました。

(2) 旭区役所をはじめ関係機関と密に連絡を取り虐待の早期発見・防止に努めました。また、ケアマネジャーや地域の福祉関係者等からの虐待ケースの相談について、関係機関と連携し支援に取り組みました。特に居宅介護支援事業所訪問時、虐待予防に関する独自のチラシを配布し、虐待予防の啓発を行いました。また、地域包括支援センター内に虐待予防のチラシポスターを掲示し、相談窓口の周知を行いました。個別のネグレクトケースでは、関係機関と定期的にカンファレンスを開催し情報共有に努め、見守り体制を築き支援にあたりました。

(3) 小規模多機能ラウレアと共催で介護者カフェ「カフェ de らん」を開催しました。ウクレレのボランティアにも毎回参加して頂き、参加者のくつろぎの場となるよう居場所を提供しています。(15回 37人)

(4) 介護者の集いへの参加ができない方に対し、定期的に個別相談を受け、介護者の精神的負担の軽減に努めました。

## ③認知症

(1) 地域活動交流部門と共に、幅広い世代の方々を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催しました。(鶴ヶ峯小学校・かがやきクラブ旭)

旭区徘徊SOSネットワークシステムの協賛店まわりをきっかけに旭区キャラバンメイトひまわりの会と理美容企業との講座開催に繋ぐことが出来ました。次年度も継続して、旭区キャラバンメイトひまわりの会と企業や福祉団体を繋げるコーディネートを行い、より多くのサポーターを養成できるように努めます。

(2) 「認知症をみんなで支えるまちづくり検討会@鶴ヶ峰地域ケアプラザ」を6月8日に開催し、認知症啓発のためのファイルを作成しました。また、検討委員とともに協賛店まわりも行い、ほっとちゃんマークに付随する独自ステッカー(昨年度作成)とファイルを配布し、より効果的に認知症への理解と協力を得ることが出来ました。

全105店舗確認(その内、新規20店舗登録)

(3) 旭オレンジウィークに合わせて、9月19日にアルツハイマーデー街頭キャンペーンを実施しました。当日は検討委員19人とともに活動し、啓発パンフレット300部を配布することが出来ました。

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ①地域住民、関係機関等との連携推進支援

(1)定期的に民生委員・児童委員協議会に出席し、連携を図りました。(15回 212人)個別ケースに関しては、地域ケア会議を開催し、民生委員とケアマネジャーが、連携しやすい関係を作りました。

また、鶴ヶ峰地区笠町内会防災マッププロジェクトにオブザーバーとして打ち合わせから積極的に参加しました。防災マップづくりの際には笠町内会役員、横浜国立大学講師、学生とともに町内を回り、地域の環境、1人暮らし高齢者の把握等に努めました。

(2)平成29年10月18日に民生委員・児童委員とケアマネジャーの事例検討会を開催し、認知症の事例を検討することで、共に地域で見守ることの重要性を認識できました。(57人)

(3)地域の各関係団体に出向き、福祉関係者に対して、介護保険制度や介護予防・日常生活支援総合事業についての理解を深めました。

#### ②医療・介護の連携推進支援

(1)旭中央病院と連携し、エリア内のケアマネジャーに対して医療連携についての勉強会を開催、好評を得ました。(11月29日「医療連携に自信を持とう。血液検査データの読み方」 39人)

さらに、旭区歯科医療連携室と連携し、9月29日「旭区在宅歯科連携室研修 口腔ケアで食べられる口づくり」を開催、歯科医師や歯科衛生士だけでなく、多くの福祉関係者が参加し、介護の現場で実践できると好評でした。また、旭区歯科連携室の方々に地域ケア会議に参加いただき、多職種連携を図りました。(48人)

その他、地域住民への介護予防の講師依頼をし、口腔ケアについての勉強会を実施しました。(2回 38人)

医療関係者と福祉関係者の勉強会を平成30年1月19日に開催、薬剤師の居宅療養管理指導について学びました。多くの薬局薬剤師の方も参加いただき、福祉関係者との交流を図ることができました。(38人)

(2)地域の医療機関や薬局へ積極的に訪問し、地域包括支援センターへの理解を深めました。(延べ186件)その結果、地域のサロン等にて、エリア内の薬局の薬剤師による、薬についての講座を開催し、好評を得ました。(3店舗の薬剤師に依頼、3回 30人)また、個別のケースや包括レベルの地域ケア会議へも参加いただき、認知症高齢者の支援も一緒に考えることができました。

平成30年2月から、当ケアプラザの運営協議会に区の薬剤師会の方もご参加いただきました。今後の更なる連携に繋げていきます。

(3)7月28日横浜鶴ヶ峰病院にて、来院患者への介護保険や健康についての出張相談会を開催しました。相談者からは、「病院で福祉の相談ができるのはよい」とのご意見をいただきました。

(4)ケアプラザの協力医と連携し、7月27日「サロン折鶴」、平成30年1月25日にタワーマンションにて医療・介護の相談会を開催しました。

#### ③ケアマネジャー支援

(1)ケアマネジャー連絡会を開催しました。

①「ケアプランに活かそうセラピストの視点」5月17日(52人)

②「生活困窮者の対応について」7月19日(54人)

③「あなたの見立てで未来が変わる。ICFの視点から作る介護予防ケアマネジメントについて」9月19日(32人)※地域リハビリテーション活動支援事業を活用しました。

④「医療連携に自信を持とう。血液検査データの読み方」11月29日(39人)

- ⑤「精神疾患について」平成30年3月15日（28名）  
 エリア内だけでなく旭区全体や他区からの参加希望もありました。毎回実施しているアンケートに於いても、研修内容に満足とのご意見が多く、ケアマネジャーのスキルアップに役立ちました。
- (2)(3)毎月、エリア内の居宅介護支援事業所に訪問し、エリア内のグループホーム空き情報等を提供するとともに、個別の相談に応じました。
- (4)(5)ケアマネジャーからの相談に対し、必要と思われる事例については、区役所等と連携し、呼びかけのカンファレンスを行い、チームケア体制がとれるように支援しました。(12回)
- (6)(7)ケアマネジャーの相談内容に応じて、3職種で適切な支援・助言を行いました。
- (8)新人・就労予定ケアマネジャーを対象とした研修を、9月28日に開催しました。第2回は平成30年2月27日に開催しました。
- (9)旭ケアネットのオブザーバーとして後方支援を行いました。(7回)
- (10)旭区内の12地域包括支援センター共催で、区内の居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーへの支援を強化するために、6月26日に交流会を開催しました。32人の参加をいただき、「同じ主任ケアマネジャーとしての悩みや苦勞を話すことができよかった。」と好評でした。引き続き来年度も開催予定です。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- (1)個別ケース地域ケア会議開催。(7月12日、8月31日、12月15日、平成30年3月9日)関係者がケースに対して同じ目線で取り組めるよう、支援の役割分担を行いました。その結果、地域で見守りを行うことで、在宅生活を継続するための体制作りが出来ました。
- (2)担当圏域の地域ケア会議開催。(6月8日32人、平成30年1月15日30人)第一回では、ほっとちゃんマークの更新に伴い、より活用するための独自のステッカーを作成。SOSネットワーク更新の手続き(100店舗)に際して、独自のステッカーも一緒に配布しました。協賛店の配布時に、会議参加者に同行していただくことで、ともに見守ることの大切さを実感していただけたと思います。第二回では、個別ケースで検討した新しい認知症(意味性認知症)について検討委員と学び、地域で支えることが重要であると認識できました。
- また、9月19日に開催したアルツハイマーデーにおいても、会議出席者の方々に協力を頂き(19人)、自治会館前、駅周辺の薬局内、バスターミナル周辺の商店前にて認知症啓発のためのチラシを配布し、地域住民への認知症啓発を行いました。(300部)

#### (5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

##### 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

- (1)ケアプラン作成では、本人の主体性や意欲が引き出せる実現可能な目標を設定し、本人の自立に向けた介護予防ケアマネジメントに努めました。また、高齢者食事会、かがやきクラブ旭、「みな元気・旭」等の地域での活動グループの情報提供を行い、身近な通いの場への参加を促したケアプランの作成に努めました。
- (2)ケアプランの見直しでは、目標達成について評価を行い、次のケアプラン作成に結びました。
- (3)19か所の居宅介護支援事業所と委託契約を行っています。プラン作成・変更・更新時のサービス担当者会議に参加し、介護予防ケアマネジメントについての助言・指導を行いました。
- (4)担当圏域の居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象に、介護予防従事者研修として、介護予防プランの勉強会を9月19日に開催。地域リハビリテーション事業を活用し「ケアプランに活かすICFの考え方」について学びました。(32人)

## (6) 一般介護予防事業

### 一般介護予防事業

(1)

・介護予防普及啓発活動について

①出張講座の実施

高齢者食事会（第1～第4鶴の会、旭中央つぶらの会）

地域サロン（おひさまの会、サロンほほえみ、きずなサロン、サロン折鶴）

・内容

「認知症予防のレクリエーション」「介護予防について」「熱中症予防」「ちゅーりっぷ体操」「健康相談会」「いまさら聞けないお薬のこと」等

②認知症予防講座について

「コグニサイズを学ぶ」全2回の予定だったが、好評を得、月1回の継続事業となり毎回20名以上の方が参加中。認知症予防への関心の高さがうかがえた。（全9回194人）

・介護予防事業

①健康ウォーキング（5月29日17人、9月11日13人）地域のガイドボランティアさんの活動の場の提供となり、参加者の仲間づくりとなりました。

②「GO GO 健康！元気づくり教室」の実施

町内会館（川島町西町内会館、四季美台親睦会館全8回54人）をお借りし健康づくり、介護予防に取り組むきっかけづくりに努めました。

③「GOGO 健康！元気づくり出張講座」の実施

老人会（あじさい会3月18日45人）栄養について、地域サロン（きずなサロン3月27日10人）運動について 町内会館での開催を行いました。

④「認知症予防講演会」の実施

（3月26日32人）～笑顔が健康を生み出す～をテーマに認知症についての理解と日々の生活の過ごし方について学ぶことが出来ました。

(2)

・元気づくりステーション支援

①ローズサークル、桐谷公園健幸クラブへ、会の運営や内容について区役所高齢・障害支援課担当保健師と共に会の活動が円滑に行えるように支援に努めました。

②昨年度から鶴ヶ峰本町で元気づくりステーションの立ち上げ支援に努めましたが支援者が少なく立ち上げることができませんでした。が、新たに四季美台町ぐるみ健康づくり教室が元気づくりステーションとなりました。

(3)地域やケアプラザで健康づくり(介護予防)に取り組んでいる「みな元気・旭」の活動グループの支援に努めました。各グループの方々に体力測定を行い、現在の自分の体について知ってもらうよい機会となりました。体内年齢が実年齢よりも10歳以上若い結果となり参加者の励みとなりました。

第2回介護予防活動グループ連絡会を平成30年3月22日（10人）に開催しそれぞれの会の課題や取り組みについて話し合いました。介護予防講座0B会（ひまわり会・鶴ヶ峰本町いきいき生活講座）は、スムーズに運営ができています。運営に対する相談・助言などの後方支援に努めました。

(4)

・保健活動推進員研修の実施

「高齢者の栄養について」（7月26日30人）

・ボランティアスキルアップ研修の実施

「スリーA技術向上」

（8月1日、29日 合計 64人）

自身が楽しめ、また、会に持ち帰り会のプログラムでも活用する事が出来ました。

また、ボランティア同士の交流の場にもなりました。アンケートでは引き続き学びたいという声が聞かれ次年度育成講座を予定しています。

(5)広報紙「千羽鶴」にて、地域で展開している介護予防講座の様子を紹介しました。

## その他


以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

### 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

- (1) ケアプラザは地域の様々な方にご利用頂く施設であるため、安心して安全にご利用頂けるよう空調設備、消防設備、エレベーター等の保守点検を定期的に行いました。
- (2) 日常清掃や消耗品の補充など日常の衛生・備品管理を徹底し、お客様が快適に過ごして頂けるようにしました。
- (3) 開所して17年が経過し、建物や機械に不具合も多く出現してきており、業者のみならず職員による清掃や点検も日常的に実施しました。
- (4) 感染症を予防する為に空間除菌機やアルコール噴霧器を設置し、衛生面の管理を徹底しました。
- (5) 玄関周りや緑の多い庭の管理は福祉作業所やボランティア等の協力を頂き、美観に配慮しました。
- (6) 建物や施設設備（昇降機、自動火災報知機、空調、厨房冷蔵庫等）のハードが長期間にわたり、安全で快適なものとなるよう、総合的な改修・更新リスト計画を作成し、優先順位をつけ、計画的に保守管理に努めました。

#### イ 効率的な運営への取組について

- (1) ケアプラザの労務、経理等の事務処理に関して、法人本部と連携して業務や役割分担を図りながら事務の効率化に努めました。また建物管理、保守、送迎車輛リース等の委託業者の選定にあたっては電子入札を実施し経費削減を図りました。
- (2) 法人として複数のケアプラザの管理運営を行っているメリットを活かし、各ケアプラザと情報を共有し、運営面の一層の効率化と経費の節減を図りました。
- (3) 会議を通し情報共有・意見交換を積極的に行い、業務効率、迅速化に努めました。＜全体会議（月1回）、職員会議（月2回）、委託各部門会議（月1回）、通所介護会議（月2回）、居宅介護支援事業会議（週1回）＞
- (4) 室温や光量、運転管理等をし、光、熱、水、ガソリン等の資源節約に励みました。特に、電力量の節約について、デマンド監視装置を導入することで、「いま使っている電力量の見える化」を行い、最大消費電力の削減に努めました。

#### ウ 苦情受付体制について

- (1) 法人で苦情解決規則を定め、それに基づきケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置し、お客様からのご意見、ご要望、苦情等に対応しました。
- (2) 法人では公正・中立の立場から斡旋、調整を行う第三者委員制度を設け、適切な苦情解決に向けての体制を整備しています。また毎月開催されるサービス向上委員会で分析された苦情とその対応等については、ケアプラザで活用できるよう職員に周知し、より良いサービスにつなげるよう努めました。
- (3) 苦情やご意見箱、アンケートからのご要望については担当部署の会議等で検討し、真摯に対応することでお気持ちに添ったサービス提供を目指しました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- (1) ケアプラザでは地震、火災等の災害時の備えとして、防災対応マニュアル、消防計画、サービス提供継続計画（BCP）を策定し、適宜更新を行いました。防災訓練を通して、緊急時にケアプラザ職員がマニュアルに則った対応がとれるようにしました。
- (2) 災害時の職員の役割が地域の皆さまに分かるよう、職員の名札に役割を明記しました。
- (3) 旭区役所と特別避難場所の協定を結び、災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所としての役割を担います。今年度は、区で初めてとなる特別避難場所開設訓練を 11 月に区役所と合同で実施し、実践に即した訓練を行うことができました。
- (4) 法人全体で安否確認システム操作訓練や徒歩参集訓練を実施しました。
- (5) 独居高齢者等の災害弱者がどこに居住しているか把握し、支援に活かせるマップの更新をしました。
- (6) 万が一に備え、日頃から地域と連携する為に、地域で行われる防災訓練に参加しました。
- (7) 高齢者、障がい者、こどもに犯罪が及ばないよう情報提供、連絡会、講座等を通して防犯対策を積極的に啓発しました。
- (8) 夕方に発生する率の高い地域のこどもに対する事故防止としては、デイサービス送迎車に「こども 110 番の車」、「横浜市子ども安全の日」などのステッカーを掲示するとともに送迎職員による見守りも行いました。



#### オ 事故防止への取組について

- (1) サービス提供中に事故に至らなくても気づいた点などを記録し、会議の場において報告すると共に防止策を検討しました。
- (2) リスクマネジメントや事故防止に関する研修を実施し、職場内で学び合い、実際の事故防止に役立てました。
- (3) 所内会議等において、事故事例や事故防止マニュアルを活用するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理の意識を高めました。また、毎月開催される法人内のケアプラザ所長会で、他事業所の事故事例を共有することで、事故の再発防止に努めました。
- (4) 全車両の前後にドライブレコーダーを設置し、事故防止を図るとともに、事故の具体的な再発防止にも活用しました。
- (5) 過去に起こった、または目撃した車両事故現場（ヒヤリとした現場も含む）をマップ化し、送迎職員で危険個所の情報共有をし、事故防止に努めました。
- (6) 施設の安全面においては、設備点検、清掃、備品管理を徹底し、ご利用頂く方の安全を図りました。
- (7) 衛生管理者を配置し、毎月、衛生委員会を開催し、衛生面の事故防止に努めました。また、産業医による月1回の巡視を継続しました。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- (1) 法人で定めた個人情報保護規程に則り、個人情報の管理に関する担当者、責任者を決めました。また法人で実施される個人情報保護・情報セキュリティ研修を職員に受講させ啓発に努めるとともに、全職員に向け所内研修を実施しました。
- (2) 実際の個人情報の取り扱いとして、契約書や記録類、フラッシュメモリー等は施錠可能なロッカーなどで保管しました。またデータは所内サーバーに保存し、紛失を防止しました。
- (3) パソコン等のデータ管理については、システムセキュリティやパスワード使用等を徹底しました。
- (4) 書類等を携帯しての外出が必要な場合には、所長の決裁をとった上で、最小限の情報のみを個人が特定できないよう工夫し、個人情報専用鞆で携帯することを徹底しました。
- (5) F A Xの誤送信防止の為、F A X送信時は2人対応としF A X番号を正面から指差し確認の上、送信しました。また郵便物を送る際も2人対応で確認しました。
- (6) デイサービスの通所介護記録書や連絡帳等については、生活相談員同士でダブルチェックを行ないました。また、所長も含めた書類確認の体制を整備し、個人情報事故防止に努めました。
- (7) 郵送・F A Xだけでなく、デイサービス・地域包括支援センター等の個人書類の受け渡しについて、書類の出入りが分かるチェック表を活用したことで、いつ、誰が、何を受け取り、渡したかが分かるようになった為、個人情報事故が防止できています。
- (8) 業務用携帯電話には暗証番号を設定するとともに、着信発信履歴をこまめに消去しました。

#### キ 情報公開への取組について

- (1) ケアプラザにおいて情報開示のご要望は、今年度はありませんでした。
- (2) 法人やケアプラザのホームページ、ブログ、広報誌の他、タウン誌等を活用して各種事業に関する情報等を幅広く住民の方に提供しました。

#### ク 人権啓発への取組について

- (1) 法人の全体研修において人権啓発研修を実施しました。(H29.7.21)
- (2) ケアプラザ職員向けの人権啓発研修を実施しました。(H30.3.27)
- (3) 人権尊重に関するポスターをケアプラザ内に掲示しました。
- (4) 虐待や消費者被害が疑われるケースがあった場合には、区役所や関係機関と連携し対応を行い、同様のケースが無いが職員に周知し早期発見に努めました。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

- (1)横浜市「ごみゼロルート回収」のルールに従い、資源ゴミの分別収集に協力しました。
- (2)省エネルギー対策、ゴミの減量化など良好な環境の維持のために、節電（コンデンサー設置済）、節水（節水システム設置済）を心掛け、コピー用紙の裏面使用を励行しました。特に、今年度はデマンド監視装置を導入し、「使用電力量の見える化」を図り、最大使用電力量の削減に努めました。
- (3)夏季には軽装での執務を心がけクーラーの設定温度を28度（デイサービス等、お客様の部屋は適宜の設定）にするなど、クールビズを5月1日から10月31日としました。また冬季は暖房を20度にするなど、ウォームビズを徹底しました。
- (4)グリーンカーテンを設置し、景観・環境に配慮しました。
- (5)不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源をこまめに落とすなど、地球温暖化防止にも心掛けました。
- (6)定期的に車両点検を行い、排出CO<sub>2</sub>を抑制するとともにエコ運転をしました。
- (7)植栽の管理等を福祉作業所等に依頼し、ボランティアの協力を頂きながら、緑化、環境保全にも気を配りました。
- (8)環境への配慮として、可能なかぎり薬剤を使用せずに洗浄清掃しました。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

地域包括支援センター	保健師職担当看護師	1名（管理者兼務）
	社会福祉士	3名
	主任ケアマネジャー	1名
	介護支援専門員	非常勤専従3名 非常勤兼務1名

職員は質的向上を図る為、介護予防に関する研修を年1回以上受講しました。

#### 《目標に対する成果等》

- (1) 事業対象者及び要支援1・2の方が住み慣れた地域、在宅で自立した日常生活を継続し、安全・安心な暮らし、かつ尊厳のある生活が出来るよう、支援に努めました。
- (2) ケアプランの作成にあたっては、お客様の立場に立ち、ご本人の意思及び人格を尊重し計画作成を行いました。
- (3) 自立に向け設定された目標を達成する為に、ご本人やご家族と共に問題を解決していき、適切な保健、医療、福祉サービス事業者、介護保険以外のサービス、社会資源を活用し総合的なサービス提供の調整を行い自立支援に努めました。
- (4) 専門職として常にお客様の身になり、誠意を持って業務遂行すると共に、公正中立な立場から支援に努めました。
- (5) 委託をしている居宅介護支援事業所の介護支援専門員への指導、助言、支援に努めました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- (1) 通常のサービス提供地域を越える地域に訪問、出張する必要がある場合には以下の実費をいただきます。

① 公共交通機関を利用の場合・・・公共交通機関の運賃分  
サービス提供地域を越え、訪問するお客さまはいませんでした。

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- (1) 介護予防自主活動グループや地域活動交流部門が企画運営している事業の他にも地域で開催しているサロン、体操教室等の情報提供を行い、外出の機会や人との交流が増え、日常生活が活性化するよう支援しました。
- (2) 毎月所内会議を行い、情報を共有し、専門職としての意識・知識向上に努めチームアプローチに努めました。

#### 《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
205	202	210	203	207	208
10月	11月	12月	1月	2月	3月
210	213	212	210	222	216

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（主任介護支援専門員、常勤専従）  
 介護支援専門員 常勤専従 2名  
 非常勤兼務 1名

《目標に対する成果等》

- (1) 居宅サービス計画の作成にあたっては、お客様の心身の状況やその置かれている環境等に応じて、住み慣れた地域での生活が送れるよう、自立支援の視点から支援しました。
- (2) 法令を遵守し、公正中立な立場で居宅サービス計画を作成するとともに、行政機関や保健・医療・福祉サービス事業所等との連携や調整を行いました。
- (3) 24時間・365日お客様からの相談対応が出来る体制をとり、ケアマネジャー相互の情報共有を密にすることで、地域の在宅介護を支援しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- (1) 通常のサービス提供地域を越える地域に訪問、出張する必要がある場合には、以下の実費をいただきます。
  - ① 公共交通機関を利用の場合・・・公共交通機関の運賃分
 サービス提供地域を越え、訪問するお客さまはいませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- (1) 福祉サービスの利用だけでなく、お客様が活動的に生活を送れるよう趣味・運動の情報提供や活動支援を行いました。
- (2) 認知症高齢者でも地域に住み続ける事が出来る環境づくりの支援と、ご家族と密な情報共有と協力体制の確保に努めました。
- (3) 主介護者であるご家族に対し、ケアマネジャー訪問時に介護に関する情報の提供をプリント等で積極的に行い、日常の介護負担が軽減できる体制の取組を地域包括支援センター・地域活動交流コーディネーター・生活支援コーディネーターと連携を図り行いました。
- (4) 地域のインフォーマルサービスをケアプランに位置づけ、活用しました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
95	102	101	102	102	104
10月	11月	12月	1月	2月	3月
107	110	107	110	109	109

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

○通所介護○

- (1) お客様が自立した日常生活を営むこと及び、ご家族の負担軽減を目標としたサービスを提供しました。
- (2) お客様の心身の特性を踏まえ、通所介護計画書を作成し、入浴・食事の提供及び必要な介護・送迎・生活等に関する相談・助言並びに機能訓練等を行いました。
- (3) 日々の連絡や広報誌・家族会を通して情報提供を行い、ご本人・ご家族の介護を支援しました。
- (4) 事業の実施にあたり、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との連携を図り総合的なサービス提供の調整に努めました。

○認知症対応型通所介護○

- (1) お客様が穏やかに、在宅での生活を送れるための支援や介護者の負担軽減を目標としたサービスを提供しました。
- (2) お客様の心身の特徴を踏まえ、認知症対応型通所介護計画書を作成し、入浴・食事の提供及び必要な介護・送迎・生活等に関する相談・助言を行いました。また、お客様の状態に合わせた、個別機能訓練や口腔機能向上のためのプログラムを実施しました。
- (3) 事業の実施にあたり、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状況の軽減もしくは悪化の防止に取り組みました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

○通所介護○

	● 1割負担	● 2割負担
(要介護1)	692円	1383円
(要介護2)	817円	1634円
(要介護3)	947円	1893円
(要介護4)	1077円	2153円
(要介護5)	1206円	2412円

●サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	7円	13円
●口腔機能向上加算	161円	322円
●入浴介助加算	54円	108円
●個別機能訓練(Ⅱ)	60円	120円
●送迎減算(片道)	-51円	-101円
●介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	1ヶ月のご利用単位数の 1000分の59に相当する単位数の料金	

○認知症対応型通所介護○

	● 1割負担	● 2割負担
(要介護1)	1072円	2144円
(要介護2)	1188円	2376円
(要介護3)	1305円	2609円
(要介護4)	1422円	2844円
(要介護5)	1539円	3077円

●サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	7円	13円
●入浴加算	55円	109円

●個別機能訓練加算	30円	59円
●口腔機能向上加算	164円	327円
●介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	1ヶ月のご利用単位数の 1000分の104に相当する単位数の料金	
●送迎減算（片道）	-52円	-103円

		●共通負担
●食費		700円
●特別な行事・レクリエーション	お客様の希望で提供した場合	実費

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30

《職員体制》

管理者 1名 生活相談員 5名 介護職員 26名  
調理員 7名 看護職員 8名（機能訓練指導員を兼ねる） 運転手 12名

《目標に対する成果等》

○通所介護○

- (1)お客様が住み慣れた地域で長く在宅生活を送れるよう、自立支援の取組に力を入れました。
- (2)身体機能の維持向上、生活意欲の向上を目指し、安全で安心して過ごせる環境とサービス提供に努めました。
- (3)お客様一人ひとりのニーズに沿った援助が出来るよう、業務改善や研修を通して、より質の高いサービス提供を目指しました。
- (4)お客様の社会参加の場所として、地域とのつながりを実感できるような支援に取り組みました。
- (5)定められた規則を遵守し、お客様に信頼されるサービスを実施しました。

○認知症対応型通所介護○

- (1)自立支援の取組により、生活機能の維持向上、生活意欲の向上を目指しました。また安全で安心して充実した時間を過ごせる環境とサービス提供に努めました。
- (2)お客様一人ひとりの個性を見極め、その方の状態に合わせた援助が出来るよう、業務改善や研修を通して、より質の高いサービス提供に努めました。
- (3)お客様の社会参加の場所として、地域との繋がりを実感できるような支援に取り組みました。
- (4)定められた規則を遵守し、お客様に信頼されるサービスを実施しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

○通所介護○

- (1)お客様が活動（囲碁・将棋・麻雀・手芸・習字・園芸・水彩画（色鉛筆画）・ハンドベルなど）に取り組むお手伝いをし、お客様同士、また地域の方々との交流が活発になるようにしました。今年度は、新たにパステルシャインアートの講師を依頼し、お客様の活動がさらに豊かになるよう心がけました。
- (2)お客様が、季節の行事（夏祭り、敬老会、クリスマス会、ひなまつり会、戸外訓練など）に準備から参加することで、生活意欲向上のきっかけを作りました。
- (3)お客様一人ひとりの目標を設定し、機能訓練に取り組み、生活機能の維持向上につなげました。
- (4)お客様の口腔機能の向上のため、嚥下体操、口腔ケア、定期評価を行い、食生活の充実・肺炎予防に努めました。

- (5) 近隣の小・中学校からの福祉体験、ボランティアを積極的に受け入れました。特に、鶴ヶ峯小3年生との交流は、年間を通じて行い、地域の小学生とお客様との良い交流の機会となりました。
- (6) 自主的に健康づくりプログラムへ参加したお客様を対象に、楽しみながら健康増進に繋げるシステムとして独自のポイント「ツールポイント」を付与し、更なる意欲向上につながるよう支援しました。
- (7) 中重度のお客様に対応出来る看護師の体制構築を行いました。

○認知症対応型通所介護○

- (1) 少人数での落ち着いた雰囲気の中で、アクティビティケア（音楽・園芸・化粧・回想法・アニマルセラピー・ロボットセラピーなど）で五感を刺激し、日常生活を充実して頂けるよう取り組みました。
- (2) お客様が、季節の行事（夏祭り、敬老会、クリスマス会、ひな祭り会など）に準備から参加することで、生活意欲向上のきっかけになるよう努めました。
- (3) 嚥下体操・歯磨き指導を行い、嚥下能力と口腔内の健康維持に取り組み、肺炎予防に努めました。
- (4) お客様一人ひとりの目標を設定し、その方の状態に合わせた各種機能訓練に取り組み、生活機能の維持向上に努めました。
- (5) 近隣の小・中学校からの福祉体験、ボランティアを積極的に受け入れました。特に、鶴ヶ峯小3年生との交流は、年間を通じて行い、地域の小学生とお客様との良い交流の機会となりました。
- (6) 居宅介護支援事業所、関係機関との連携を密に図り、お客様や介護者のニーズ・心身の状況に合った適切なサービスが迅速に提供できるよう努めました。
- (7) 戸外訓練（近隣店舗での買い物訓練、地域作業所の店舗利用訓練など）や制作活動の作品展示・雑誌掲載などの取組を通して、地域との交流や社会参加につなげました。
- (8) 認知症予防の特別メニューを作成し、認知症の進行の軽減に取り組みました。

≪利用者実績（延べ人数）≫

○通所介護○

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
796	846	841	864	874	831
10月	11月	12月	1月	2月	3月
840	794	719	696	709	817

○認知症対応型通所介護○

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
219	203	190	179	171	156
10月	11月	12月	1月	2月	3月
180	178	154	153	147	166

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- (1) お客様が自立した日常生活を営むこと及び、ご家族の負担を軽減することを、目標としたサービスを提供しました。
- (2) お客様の心身の特性を踏まえ、介護予防通所介護計画書を作成し入浴・食事の提供及び必要な介護・送迎・生活等に関する相談・助言並びに機能訓練等を行いました。
- (3) 日々の連絡や広報誌・家族会を通して情報提供を行い、ご家族の介護の支援に努めました。
- (4) 事業の実施にあたり、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	● 1割負担	● 2割負担
(要支援1)	1766円	3531円
サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	26円	52円
(要支援2)	3621円	7241円
サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	52円	103円
● 運動器機能向上加算	242円	483円
● 口腔機能向上加算	161円	322円
● 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	1ヶ月のご利用単位数の 1000分の59に相当する単位数の料金	
● 食費		● 共通負担 700円
● 特別な行事・レクリエーション	お客様の希望で提供した場合 実費	

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30

《職員体制》

管理者 1名 生活相談員 5名 介護職員 26名  
調理員 7名 看護師 8名（機能訓練指導員を兼ねる） 運転手 12名

《目標に対する成果等》

- (1) お客様が要介護状態にならないよう、身体機能の維持向上、生活意欲の向上に努めました。
- (2) 自立支援の環境整備とサービス提供に努めました。
- (3) お客様一人ひとりのニーズに沿っての援助が出来るよう、業務改善や研修を通して、質の高いサービス提供を行いました。
- (4) お客様が社会参加の場所として、地域とのつながりを実感できるような支援に取り組みました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- (1) お客様が活動（囲碁・将棋・麻雀・手芸・習字・園芸・水彩画（色鉛筆画）・ハンドベルなど）に取り組むお手伝いをし、お客様同士、また地域の方々との交流が活発になるように努めました。今年度は、新たにパステルシャインアートの講師を依頼し、お客様の活動がさらに豊かになるよう心がけました。
- (2) お客様が季節の行事（夏祭り、敬老会、クリスマス会、ひな祭り会、戸外訓練など）に準備から参加することで、生活意欲向上のきっかけ作りに努めました。



- (3)お客様一人ひとりの目標を設定し、包括的なトレーニングにより、身体機能の維持向上に取り組みました。
- (4)お客様の口腔機能の向上のため、嚥下体操、口腔ケア、定期評価を行い、食生活の充実・肺炎予防に努めました。
- (5)近隣の小・中学校からの福祉体験、ボランティアを積極的に受け入れました。特に、鶴ヶ峯小3年生との交流は、年間を通じて行い、地域の小学生とお客様との良い交流の機会となりました。
- (6)自主的に健康づくりプログラムへ参加したお客様を対象に、楽しみながら健康増進につなげるシステムとして独自のポイント「ツールポイント」を付与し、更なる意欲向上につながるように努めました。
- (7)デイサービス日記帳にご利用時の様子を記載して頂き、脳の活性化に努めました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
128	141	140	163	143	151
10月	11月	12月	1月	2月	3月
153	153	156	143	147	143

平成29年度「横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,199,766	1,857,317	17,057,083	17,057,083	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	359,800	△ 359,800	自主事業における参加費収入
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	59,507	△ 59,507	
印刷代	0		0	8,800	△ 8,800	印刷代
自動販売機手数料	0		0	50,707	△ 50,707	自動販売機手数料
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,990,461		1,990,461	1,990,461	0	
収入合計	20,777,727	1,857,317	22,635,044	23,054,351	△ 419,307	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,985,427	0	11,985,427	12,209,497	△ 224,070	
本俸	8,259,000		8,259,000	8,397,365	△ 138,365	職員俸給、非常勤職員給与
社会保険料	1,104,987		1,104,987	1,091,130	13,857	法定福利費
手当計	2,357,070		2,357,070	2,476,824	△ 119,754	諸手当、通勤費、賞与
健康診断費	74,845		74,845	53,497	21,348	健康診断、ストレスチェック受診費
勤労者福祉共済掛金	8,250		8,250	0	8,250	
退職給付引当金繰入額	173,213		173,213	172,438	775	退職共済掛金
その他	8,062		8,062	18,243	△ 10,181	横浜市勤労者福祉共済
事務費	725,000	0	725,000	1,305,767	△ 580,767	
旅費	13,200		13,200	4,400	8,800	旅費交通費
消耗品費	60,000		60,000	203,802	△ 143,802	事務消耗品
会議購入費	0		0	0	0	
印刷製本費	90,000		90,000	111,621	△ 21,621	コピーカウンター料、トナー料、名刺代
通信費	180,000		180,000	245,775	△ 65,775	電話代、郵送代、セキュリティシステム・GW監視委託費
使用料及び賃借料	0	0	0	9,600	△ 9,600	
横浜市への支払分	0		0	9,600	△ 9,600	目的外使用料(自動販売機設置)
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	192,885	△ 192,885	パソコンリース料(10万円以上の契約)
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	19,187		19,187	22,506	△ 3,319	施設賠償責任保険、業務災害保険
職員等研修費	9,600		9,600	8,006	1,594	研修出張・交通費
振込手数料	53,013		53,013	20	52,993	銀行振り込み手数料
リース料	200,000		200,000	75,100	124,900	サーバー賃借料、衛生マット・モップ
手数料	0		0	80,595	△ 80,595	残高証明書発行手数料、EBサービス手数料
地域協力費	0		0	0	0	
その他	100,000		100,000	351,457	△ 251,457	職員被服費、産業医、給与委託、システム保守、諸会費
事業費	1,332,000	0	1,332,000	788,547	543,453	
運営協議会経費	42,000		42,000	29,358	12,642	運営協議会(6月、2月)
指定管理料充当 事業	1,290,000		1,290,000	759,189	530,811	自主事業費支出(地域交流事業)
管理費	5,776,466	1,857,317	7,633,783	6,714,185	1,052,332	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	2,463,238	0	2,463,238	2,155,689	307,549	電気料金、ガス料金(空調、一般)、水道料金
電気料金	739,098		739,098	646,932	92,166	
ガス料金	665,026		665,026	628,847	36,179	
水道料金	1,059,114		1,059,114	879,910	179,204	
清掃費	856,611		856,611	1,058,425	△ 201,814	日常清掃業務委託費
修繕費	474,000	1,857,317	2,331,317	2,331,317	0	建物修繕
機械警備費	92,147		92,147	116,104	△ 23,957	機械警備委託業務
設備保全費	1,371,971	0	1,371,971	853,144	518,827	
空調衛生設備保守	268,078		268,078	304,828	△ 36,750	空調保守点検、冷温水発生器年間保守点検、冷暖房切替点検
消防設備保守	38,394		38,394	48,377	△ 9,983	消防設備保守業務
電気設備保守	424,716		424,716	323,093	101,623	電気設備管理業務、エレベーター保守業務
害虫駆除清掃保守	11,946		11,946	15,052	△ 3,106	害虫駆除防除業務
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	628,837		628,837	161,794	467,043	機械設備総合巡視点検、水質分析レジオネラ菌検査
共益費	0		0	0	0	
その他	651,233		651,233	199,506	451,727	植栽管理業務、ルート回収経費
公租公課	958,834	0	958,834	976,759	△ 17,925	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	958,834		958,834	976,759	△ 17,925	人件費消費税
印紙税			0		0	この列は入力しない
その他( )			0		0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	この列は入力しない
当該施設分			0		0	この列は入力しない
二一ス対応費			0		0	この列は入力しない
支出合計	20,777,727	1,857,317	22,635,044	21,994,755	773,023	
差引	0	0	△ 132,734	1,059,596	△ 1,192,330	

自主事業費収入	1,290,000		1,290,000	359,800	930,200	自主事業参加費収入(地域交流事業)
自主事業費支出	1,290,000		1,290,000	759,189	530,811	自主事業費支出(地域交流事業)
自主事業収支	0	0	0	△ 399,389	399,389	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	50,707	△ 50,707	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	9,600	△ 9,600	使用料(横浜市への支払分)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	41,107	△ 41,107	

**平成29年度「横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,949,000	△ 126,000	28,823,000	28,823,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	158,296	5,947,296	5,947,296	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	188,181	△ 188,181	自主事業における参加費収入
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	50,706	△ 50,706	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	50,706	△ 50,706	自動販売機手数料
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	2,508,093		2,508,093	2,508,093	0	
<b>収入合計</b>	<b>37,397,093</b>	<b>32,296</b>	<b>37,429,389</b>	<b>37,668,276</b>	<b>△ 238,887</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>32,956,293</b>	<b>0</b>	<b>32,956,293</b>	<b>32,683,835</b>	<b>272,458</b>	
本俸	19,554,986		19,554,986	18,400,624	1,154,362	職員俸給、非常勤職員給与
社会保険料	4,462,162		4,462,162	4,346,103	116,059	法定福利費
手当計	8,268,245		8,268,245	9,093,061	△ 824,816	諸手当、通勤費、賞与
健康診断費	52,816		52,816	49,915	2,901	健康診断、ストレスチェック受診費
勤労者福祉共済掛金	33,750		33,750	0	33,750	
退職給付引当金繰入額	575,521		575,521	750,938	△ 175,417	退職共済掛金
その他	8,813		8,813	43,194	△ 34,381	横浜市勤労者福祉共済
<b>事務費</b>	<b>500,000</b>	<b>0</b>	<b>500,000</b>	<b>1,360,758</b>	<b>△ 860,758</b>	
旅費	21,600		21,600	20,580	1,020	旅費交通費
消耗品費	10,000		10,000	120,736	△ 110,736	事務消耗品
会議賄い費	0		0	1,000	△ 1,000	会議費
印刷製本費	150,000		150,000	113,774	36,226	コピーカウンター料、トナー料、名刺代
通信費	100,000		100,000	510,940	△ 410,940	電話代、郵送代、セキュリティシステム・GW監視委託費
使用料及び賃借料	0	0	0	9,600	△ 9,600	目的外使用料(自動販売機設置)
横浜市への支払分	0		0	9,600	△ 9,600	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	パソコンリース料(10万円以上の契約)135,489
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	19,190		19,190	22,506	△ 3,316	施設賠償責任保険、業務災害保険
職員等研修費	20,000		20,000	15,654	4,346	研修出張・交通費
振込手数料	2,791		2,791	20	2,771	銀行振り込み手数料
リース料	120,000		120,000	75,103	44,897	サーバー賃借料、衛生マット・モップ
手数料	0		0	270	△ 270	残高証明書発行手数料
地域協力費	0		0	0	0	
その他	56,419		56,419	470,575	△ 414,156	職員被服費、産業医、給与委託、システム保守
<b>事業費</b>	<b>2,370,000</b>	<b>0</b>	<b>2,370,000</b>	<b>1,583,658</b>	<b>786,342</b>	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	実施回数24回
指定管理料充当自主事業(包括)	1,280,000		1,280,000	393,323	886,677	自主事業費支出(包括事業)
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	151,482	△ 482	自主事業費支出(介護予防普及強化事業)
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	534,853	△ 225,853	自主事業費支出(生活支援体制整備事業)
<b>管理費</b>	<b>1,570,800</b>	<b>0</b>	<b>1,570,800</b>	<b>1,291,056</b>	<b>279,744</b>	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	654,736	0	654,736	573,031	81,705	電気料金、ガス料金(空調、一般)、水道料金
電気料金	196,422		196,422	171,969	24,453	
ガス料金	176,778		176,778	167,162	9,616	
水道料金	281,536		281,536	233,900	47,636	
清掃費	227,707		227,707	281,352	△ 53,645	日常清掃業務委託費
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	建物修繕
機械警備費	24,494		24,494	30,863	△ 6,369	機械警備委託業務
設備保全費	367,230	0	367,230	226,777	140,453	
空調衛生設備保守	71,260		71,260	81,028	△ 9,768	空調保守点検、冷温水発生器年間保守点検、冷暖房切替点検
消防設備保守	10,206		10,206	12,859	△ 2,653	消防設備保守業務
電気設備保守	112,898		112,898	85,883	27,015	電気設備管理業務、エレベーター保守業務
害虫駆除清掃保守	3,175		3,175	4,000	△ 825	害虫駆除防除業務
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	169,691		169,691	43,007	126,684	機械設備総合巡視点検、水質分析レジオネラ菌
共益費	0		0	0	0	
その他	170,633		170,633	53,033	117,600	植栽管理業務、ルート回収経費
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>37,397,093</b>	<b>0</b>	<b>37,397,093</b>	<b>36,919,307</b>	<b>477,786</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>32,296</b>	<b>32,296</b>	<b>748,969</b>	<b>△ 716,673</b>	

自主事業費収入	1,740,000			188,181		自主事業参加費収入(包括・介護予防・生活支
自主事業費支出	1,740,000			1,079,658		自主事業費支出(包括・介護予防・生活支援)
自主事業収支	0			△ 891,477		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			50,706		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			9,600		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			41,106		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日  
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護	認知症対応型 通所介護
収入	介護保険収入	5,549	20,294	101,059	9,207	33,489
	その他	7,168	695	893	0	11
	介護予防ケアマネジメント 費	6,888	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0
	認定調査	0	695	0	0	0
	原案作成委託料	280	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
	その他	0	0	893	0	11
	<b>収入合計(A)</b>	<b>12,717</b>	<b>20,989</b>	<b>101,952</b>	<b>9,207</b>	<b>33,500</b>
支出	人件費	6,483	21,499	82,209		28,383
	事務費	209	1,436	17,412		5,450
	事業費					
	管理費	0	0	7,795		1,624
	その他	3,205	0		0	0
	利用者負担軽減額	0	0		0	0
	消費税	0	0		0	0
	介護予防プラン委託料	3,205	0		0	0
		0	0		0	0
		0	0		0	0
	その他	0	0		0	0
<b>支出合計(B)</b>	<b>9,897</b>	<b>22,935</b>		<b>107,416</b>	<b>35,457</b>	
<b>収支 (A) - (B)</b>		<b>2,820</b>	<b>-1,946</b>		<b>3,743</b>	<b>-1,957</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

資料4-1

施設名 **横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ふれあいサロン	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	定員なし		包括	0					
			生活	0					
かるがもサロン	乳幼児	0	地活	0	0	0	0	0	0
	定員なし		包括	0					
			生活	0					
語り部サロン	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	定員なし		包括	0					
			生活	0					
母の日フラワーアレンジメント教室	子ども	10,296	地活	5,296	5,000	0	0	10,296	0
	15名		包括	0					
	500円		生活	0					
クローバーズ	障がい者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	15名程度		包括	0					
			生活	0					
ミニサロン・紫陽花	高齢者	57,336	地活	3,736	53,600	0	3,341	53,995	0
	定員なし		包括	0					
	200円		生活	0					
カルチャー広場	高齢者	69,652	地活	14,052	55,600	0	6,682	62,410	560
	15名程度		包括	0					
	500円程度		生活	0					
ギャラリー・AtoZ	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
			包括	0					
			生活	0					
レッツ・エンジョイリトミック	子ども	129,798	地活	72,298	57,500	0	122,518	0	7,280
	25組		包括	0					
	500円		生活	0					
ポッチャクラブ	障がい者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	15名程度		包括	0					
	無料		生活	0					
えくぼ教室	子ども	0	地活	0	0	0	0	0	0
			包括	0					
			生活	0					
マスター入門講座	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	10名		包括	0					
	1,000円		生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

## 施設名 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
作って納得 男のかんたん料理	地域	38,247	地活	14,247	24,000	0	16,707	20,980	560
	10名		包括	0					
	1,000円		生活	0					
美文字講座	地域	11,492	地活	2,492	9,000	0	10,023	1,469	0
	15名程度		包括	0					
	300円		生活	0					
鶴ちゃん喫茶	障がい者	20,820	地活	5,110	10,600	0	0	14,100	6,720
	10名		包括	5,110					
	200円		生活	0					
合同歌声喫茶・2017	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	490名		包括	0					
			生活	0					
認知症サポーター 養成講座	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	30～90名		包括	0					
	無料		生活	0					
コーヒーサークル ハンドリップ	地域	10,569	地活	10,569	0	0	5,569	5,000	0
			包括	0					
			生活	0					
歩き方教室	地域	11,138	地活	2,438	8,700	0	11,138	0	0
	15名		包括	0					
	300円		生活	0					
介護者カフェ 「カフェdeらん」	地域の方々	10,757	地活	0	3,600	0	0	10,757	0
	6名		包括	7,157					
	100円		生活	0					
鶴ちゃんコール	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
			包括	0					
	無料		生活	0					
ひまわり会 (西川島町西部町内会 後援事業)	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	15名		包括	0					
	無料		生活	0					
桜会	高齢者	52,766	地活	0	33,481	0	33,414	12,632	6,720
	13名		包括	19,285					
	500円程度		生活	0					
健康ウォーキング	高齢者	6,418	地活	0	6,000	0	0	5,298	1,120
	13名		包括	418					
	200円		生活	0					
出張講座	地域の方々	0	地活	0	0	0	0	0	0
	20名		包括	0					
	無料		生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

## 施設名 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
子育て世代の健康相談会	育児中の母親	0	地活	0	0	0	0	0	0
	30名		包括	0					
	無料		生活	0					
認知症をみんなで支える まちづくり検討会@鶴ヶ 峰地域ケアプラザ	地域	17,028	地活	8,514	0	0	0	17,028	0
	35名		包括	8,514					
			生活	0					
タワーマンション 「歌声ひろば」 (後方支援)	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	20名		包括	0					
			生活	0					
出張 介護・医療何でも 相談会	地域	1,729	地活	0	0	0	0	1,729	0
	定員なし		包括	1,729					
	無料		生活	0					
「コグニサイズ」について 学ぼう	地域住民	85,258	地活	0	75,000	0	70,000	8,398	6,860
	20名		包括	10,258					
	500円		生活	0					
認知症予防講演会	高齢者	11,137	地活	0	0	0	11,137	0	0
	30名		包括	11,137					
	無料		生活	0					
保健活動推進員研修 (介護予防サポーター)	保健活動推進員	11,137	地活	0	0	0	11,137	0	0
	定員なし		包括	11,137					
	無料		生活	0					
鶴ヶ峰地区・旭中央地区 高齢者福祉入居施設 連絡会	高齢者入居施設	0	地活	0	0	0	0	0	0
	10名		包括	0					
			生活	0					
ボランティア育成 スキルアップ研修	地域	21,726	地活	0	0	0	20,046	0	1,680
	20名		包括	21,726					
	無料		生活	0					
GOGO健康！ 元気づくり教室	高齢者	104,140	地活	0	0	0	87,987	11,673	4,480
	20名		包括	104,140					
	無料		生活	0					
介護予防活動グループ 支援連絡会	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
			包括	0					
			生活	0					
鶴ピカ大作戦	地域	4,739	地活	4,739	0	0	0	4,739	0
	定員なし		包括	0					
	無料		生活	0					
みんなで作ろうわいわい クッキング	子ども	34,859	地活	24,859	10,000	0	22,276	11,463	1,120
	10名		包括	0					
	1,000円		生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
保存食講座	地域	50,029	地活	0	27,600	0	11,138	38,331	560
	15名		包括	22,429					
	800円～1,000円		生活	0					
親子で遊ぼう	乳幼児その保護者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	定員なし		包括	0					
	無料		生活	0					
旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー 出展事業	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	定員なし		包括	0					
	無料		生活	0					
ふれあいまつり	地域	342,898	地活	106,649	124,600	5,000	0	338,418	4,480
	1,000名		包括	106,649					
			生活	0					
サンタクロース講座	地域	27,004	地活	12,004	15,000	0	5,569	20,875	560
	20名		包括	0					
	1,000円		生活	0					
おせち作り教室	地域	9,825	地活	1,825	8,000	0	3,341	5,924	560
	10名		包括	0					
	1,000円		生活	0					
高齢者見守り事業	高齢者	3,564	地活	0	0	0	0	3,564	0
			包括	3,564					
			生活	0					
高齢者昼食会地域サロ ン 連絡会	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
			包括	0					
			生活	0					
成年後見制度講演会	高齢者	13,364	地活	0	0	0	13,364	0	0
	40名		包括	13,364					
	無料		生活	0					
オレオレ詐欺撲滅 キャンペーン	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
			包括	0					
			生活	0					
回想法「思い出を語る 会」	高齢者	18,530	地活	8,330	10,200	0	0	18,530	0
	10名		包括	0					
	300円		生活	0					
街のパティシエと バレンタインクッキーを 作ろう	子ども	9,689	地活	5,689	4,000	0	5,000	4,129	560
	15名		包括	0					
	500円		生活	0					
ボランティア交流会	地域	56,887	地活	56,887	0	0	20,000	36,887	0
	40名		包括	0					
			生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。



# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自 主 事 業 決 算 額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
医療と福祉関係者との勉強会	医療・福祉関係者	8,999	地活	0	0	0	0	8,999	0
	50名		包括	8,999					
			生活	0					
ケアマネジャーと民生委員・児童委員との事例検討会	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	40名		包括	0					
			生活	0					
地域ケア会議	福祉・医療関係者、地域住民	4,199	地活	0	0	0	0	4,199	0
	15名		包括	4,199					
			生活	0					
鶴ヶ峰・白根・左近山地域ケアプラザ合同ケアマネ連絡会	ケアマネジャー	4,199	地活	0	0	0	0	4,199	0
	35名		包括	4,199					
			生活	0					
事業所訪問	事業所	0	地活	0	0	0	0	0	0
			包括	0					
			生活	0					
介護予防ケアマネジメント研修	ケアマネジャー	0	地活	0	0	0	0	0	0
	35名		包括	0					
			生活	0					
元気づくりステーション	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	15名		包括	0					
	無料		生活	0					
エンディングノート	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	40名		包括	0					
			生活	0					
居宅介護支援事業所主任ケアマネジャー交流会	居介支の主マネ	0	地活	0	0	0	0	0	0
	35名		包括	0					
			生活	0					
介護技術講座	地域住民	560	地活	0	0	0	0	0	560
	15名		包括	560					
			生活	0					
アルツハイマーデー街頭キャンペーン	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	300名		包括	0					
			生活	0					
鶴ちゃんページ作成	地域のケアマネジャー	0	地活	0	0	0	0	0	0
			包括	0					
			生活	0					
鶴ちゃんマップ作成	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
			包括	0					
			生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
生活支援体制整備事業 周知活動	自治会町内会ほか	0	地活	0	0	0	0	0	0
			包括	0					
			生活	0					
ケアマネジャーへの ニーズ調査	地域のケアマネジャー	0	地活	0	0	0	0	0	0
			包括	0					
			生活	0					
単一町内会へのニーズ調査	地域住民	534,853	地活	0	0	0	324,000	0	210,853
	370世帯		包括	0					
	無料		生活	534,853					
ベビーヨガ講座	親子	6,129	地活	4,629	1,500	0	5,569	0	560
	10組		包括	0					
	300円		生活	0					
鶴ヶ峰地区支え合い連絡会	地域住民・施設	8,398	地活	8,398	0	0	0	8,398	0
			包括	0					
			生活	0					
鶴ヶ峰地区障がい者地 域作業所連絡会	地域の障がい作業所	4,199	地活	4,199	0	0	0	4,199	0
	30名程度		包括	0					
	0円		生活	0					
GOGO!健康づくり教室 出張講座	地域の高齢者	14,479	地活	0	0	0	14,479	0	0
	50名		包括	14,479					
	無料		生活	0					
旭区よりそい型事業 「あさひ教室」	中高生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	15名		包括	0					
	無料		生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふれあいサロン	<p>目的</p> <p>①地域の高齢者が気軽に触れ合える場を提供します。 ②太極拳やダンス等、体を動かす場をつくり、高齢者の健康の促進や維持を目指します。 ③囲碁や将棋等趣味活動の機会を作ることで、高齢者が外出や行動に意欲を持てるよう支援します。</p> <p>内容</p> <p>太極拳・社交ダンス・囲碁・将棋 サロン形式でお茶を飲みながらの交流</p>	<p>実施時期</p> <p>通年開催 (第1, 3, 4金曜)</p> <p>回数</p> <p>34回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かるがもサロン	<p>目的</p> <p>①子育て支援の一環として、親子の心身の健康を目的に活動を展開します。 ②地域の親子同士の交流の場の提供、子育ての情報提供をします。 ③サロン形式で憩いの場を作り、親子のリフレッシュの機会とします。</p> <p>内容</p> <p>手遊び、指遊び、わらべ唄、リトミック等</p>	<p>実施時期</p> <p>通年開催 (第1木曜)</p> <p>回数</p> <p>10回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
語り部サロン	<p>目的</p> <p>①高齢者を対象に、自ら絵本や民話を読み合う機会を設け、参加者の意欲向上と自己表現の場とします。 ②地域の高齢者の外出と交流の機会を提供します。 ③語り部ボランティアの育成を図ります。</p> <p>内容</p> <p>参加者自ら絵本や民話を読み合い、昔を回想するなどコミュニケーションを図ります。 ボランティアは、高齢者の聞き役としてコミュニケーションの活発化を支援します。</p>	<p>実施時期</p> <p>通年開催 (第3火曜)</p> <p>回数</p> <p>12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
母の日フラワーアレンジメント教室	<p>目的</p> <p>小学生を対象とした、仲間作り講座</p> <p>内容</p> <p>母の日のプレゼントとなる、フラワーアレンジメントを行います</p>	<p>実施時期</p> <p>5月14日</p> <p>回数</p> <p>1回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
クローバーズ	<p>目的 知的障害がある方々の地域での仲間作りを目的とします。</p> <p>内容 ストレッチ体操。 ジャズダンス。</p>	<p>実施時期 通年開催 (第1日曜)</p> <p>回数 12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニサロン・紫陽花	<p>目的 高齢者が気軽に立ち寄れる場として実施します。</p> <p>内容 ハーモニカ等の伴奏による懐かしい歌の合唱。</p>	<p>実施時期 通年開催 (第4火曜)</p> <p>回数 12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カルチャー広場	<p>目的 ①興味のある講習会に参加してもらうことにより、外出の機会を増したり、地域の高齢者同士の交流を図ります。 ②地域でのボランティアの発掘を行います。</p> <p>内容 高齢者の方を対象に開催。 講師を地域のボランティアの方に依頼し開催します。</p>	<p>実施時期 通年開催 (第2金曜)</p> <p>回数 11回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ギャラリー・AtoZ	<p>目的 ①地域の高齢者や子供、貸室利用登録団体の作品（絵画・写真・手芸等）を展示する場を提供します。 ②多くの人に見てもらうことにより、出展者の意欲向上を図ります。 ③ロビーをオープンにすることにより、当ケアプラザと広く地域住民との融合を図り、地域交流事業の認識と理解を高めます。</p> <p>内容 1階情報ラウンジに作品の展示。</p>	<p>実施時期 通年開催</p> <p>回数 12回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
レッツ エンジョイ リトミック	<p>目的 リズムに合わせて親子で一緒に体を動かします。</p> <p>内容 リトミック パネルシアター 等</p>	<p>実施時期 通年開催 (第4火曜)</p> <p>回数 12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボッチャクラブ	<p>目的 地域に暮らす中途障害の方同士の交流と、自主的なリハビリの場の提供を目的として実施します。</p> <p>内容 ボッチャ、ペタンク</p>	<p>実施時期 通年開催 (第1土曜)</p> <p>回数 11回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
えくぼ教室	<p>目的 子育てに少し悩みや不安を感じているお母さんとお子さんを応援する教室。</p> <p>内容 手遊び、リズム遊び、育児相談 等</p>	<p>実施時期 通年開催 (毎週月曜)</p> <p>回数 36回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
マスター入門 講座	<p>目的 ①地域の方々同士の交流の場となるよう支援します。 ②ケアプラザを知ってもらう機会とします。 ③地域の講師を依頼する事により、地域活動の場を提供します。</p> <p>内容 ①コーヒーの基礎知識②ハンドドリップ体験・試飲③質疑応答 →参加者が少なかった為、前回参加者を含めた振返り講座として開催。</p>	<p>実施時期 12月4日</p> <p>回数 1回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
作って納得 男の簡単料理	<p>目的</p> <p>①団塊世代男性を対象とし、地域デビューのきっかけとします。</p> <p>②趣味活動を通じて仲間作りの支援をします。</p> <p>内容</p> <p>自宅で簡単に出来る料理の工夫を学ぶ</p>	<p>実施時期</p> <p>通年開催 (6.9.3月)</p> <p>回数</p> <p>3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
美文字講座	<p>目的</p> <p>①子どもから高齢の方まで、参加出来る事業の一環として実施します。</p> <p>②地域ボランティアの活躍の場となるよう開催します。</p> <p>③目新しい事業を行うことで、今までケアプラザに足を運ぶ機会の少なかった方にも知って頂く機会とします。</p> <p>内容</p> <p>筆ペンの練習筆 筆ペンで祝のし袋に自分の名前を書く 年賀状の書き方</p>	<p>実施時期</p> <p>5月15日 8月8日 10月17日</p> <p>回数</p> <p>3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鶴ちゃん喫茶	<p>目的</p> <p>地域に暮らす精神障がい者の方を対象とし、仲間づくりと地域の方との交流を目的として開催します。</p> <p>内容</p> <p>ホットサンド作り 会食・交流会</p>	<p>実施時期</p> <p>通年開催 (第1水曜)</p> <p>回数</p> <p>12回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
合同歌声喫茶 2017	<p>目的</p> <p>①歌や音楽が好きな方々が集まって仲間作り・健康作りを行います。また外出の機会として場の提供をしていきます。</p> <p>②区内の全ケアプラザの紹介。</p> <p>内容</p> <p>旭公会堂を会場とし、区内12のケアプラザ共催で開催。アコーディオンピアノの伴奏に合わせ、皆で歌を楽しみます。</p>	<p>実施時期</p> <p>5月31日</p> <p>回数</p> <p>1回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症 サポーター 養成講座	<p>目的 地域で認知症の方やその家族を支え、誰もが暮らしやすい地域をつくって行く第一歩となるよう開催します。</p> <p>内容 地域の方々を対象に認知症の理解と対応について学びます。</p>	<p>実施時期 6月18日 7月12日 8月21日 10月3日 平成30年2月5日</p> <p>回数 調整中</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コーヒー サークル ハンドドリップ	<p>目的 ケアプラザで開催したコーヒー講座OB会 通所介護や地域のサロンなどでハンドドリップコーヒーを淹れるボランティア活動を目的として実施</p> <p>内容 ①団塊世代を対象とし、ボランティアデビューのきっかけとします。 ②趣味活動を通じて仲間作りの支援をします。</p>	<p>実施時期 通年開催 (月1回)</p> <p>回数 12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歩き方教室	<p>目的 ①若い世代の健康づくり ②生活習慣病予防 ③地域参加の機会の確保・仲間づくり支援</p> <p>内容 自身の歩き方を確認。 若い世代の健康づくりの第1歩となるよう支援をします。</p>	<p>実施時期 5月22日 11月6日</p> <p>回数 2回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者カフェ 「カフェdeら ん」	<p>目的 ①安心して介護者の抱える感情を表出できる場を設定。 ②介護者相互情報交換をしていきます。 ③介護者の休養やリフレッシュおよび役立つ社会資源の提供をしていきます。</p> <p>内容 ウクレレに合わせ歌を唄う。情報交換</p>	<p>実施時期 通年開催 (第4水曜)</p> <p>回数 12回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鶴ちゃんコール	<p>目的</p> <p>①1人暮らしの方や福祉サービスに繋がっていない方に対しての見守りを目的とします。</p> <p>②地域福祉関係者の協力により、見守り電話を行い、ネットワーク構築を図ります。</p> <p>内容</p> <p>見守り電話</p>	<p>実施時期</p> <p>通年開催 (第2,4火曜)</p> <p>回数</p> <p>24回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひまわり会 (西川島町西部 町内会後援事 業)	<p>目的</p> <p>①健康づくり、介護予防として運動・スポーツ・歌・手作業を取入れ、地域の方々の仲間づくりとします。</p> <p>内容</p> <p>軽体操や室内競技、手芸、歌、ウォーキング等</p>	<p>実施時期</p> <p>通年開催 (第2水曜)</p> <p>回数</p> <p>11回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
桜会	<p>目的</p> <p>高齢者の介護予防教室とし仲間とともに楽しみながら、要介護とならないように、栄養を中心に学び、仲間づくりと交流の場となるようにします。</p> <p>内容</p> <p>①ロコモ予防、ハマトレ体操 ②栄養を考えた季節感のある調理実習 ③習字 ④音楽 ⑤ウォーキング</p>	<p>実施時期</p> <p>通年開催 (第3水曜)</p> <p>回数</p> <p>10回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康ウォーキング	<p>目的</p> <p>①地域の高齢者を対象に身体を動かす機会を設け、健康づくりとロコモティブシンドローム予防を目的とします。</p> <p>②外出の機会・地域の方々との交流を通し、仲間づくりの機会となるように努めます。</p> <p>内容</p> <p>旭ガイドボランティアの協力のもと横浜市の名所を巡るウォーキング。</p>	<p>実施時期</p> <p>5月29日 9月11日</p> <p>回数</p> <p>2回</p>



# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張講座	<p>目的</p> <p>①地域の各種団体の会に出向き、健康教育や介護予防の必要性について理解を得、健康意識を高めることや介護予防の普及啓発を目指します。</p> <p>②介護保険について説明を行い正しい知識と制度の理解を図ります。</p> <p>③権利擁護の普及啓発活動とします。</p> <p>内容</p> <p>介護予防、介護保険、認知症予防、体操、レクリエーションや権利擁護、成年後見制度、消費者被害防止の講話。</p>	<p>実施時期</p> <p>通年開催</p> <p>回数</p> <p>16回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て世代の健康相談会	<p>目的</p> <p>幼児期の母親を対象に自身の健康について知るきっかけとなるよう働きかけを行います。</p> <p>内容</p> <p>体組成計測定 個別健康相談 栄養指導</p>	<p>実施時期</p> <p>6月 1日 9月 25日</p> <p>回数</p> <p>2回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症をみんなで支えるまちづくり検討会@鶴ヶ峰地域ケアプラザ	<p>目的</p> <p>認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを地域の方々と考え取り組みます。</p> <p>内容</p> <p>地域の保健福祉団体の関係者の方々が検討委員となり、一緒に具体的な施策を考えます。</p>	<p>実施時期</p> <p>6月8日 1月15日</p> <p>回数</p> <p>2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
タワーマンション「歌声ひろば」	<p>目的</p> <p>集合住宅での閉じこもり予防、介護予防、孤立防止のサロン作りに努め、住民同士の交流の場とします。</p> <p>内容</p> <p>ウクレレの音色に合わせ歌を唄い参加者同士の交流を図ります。</p>	<p>実施時期</p> <p>通年開催 (第4木曜)</p> <p>回数</p> <p>12回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張 介護・医療何でも相談会	<p>目的</p> <p>①地域の方が多く利用する場所に相談機関を設置し、福祉相談窓口鶴ヶ峰（地域包括支援センター）の周知を図ります。</p> <p>②医療と福祉の連携強化に努めます。</p> <p>内容</p> <p>①ケアプラザ周知のチラシ配布</p> <p>②介護保険個別相談・医療相談</p>	<p>実施時期</p> <p>7月27日 7月28日 8月25日 10月24日 1月25日</p> <p>回数</p> <p>5回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
「コグニサイズ」について学ぼう	<p>目的</p> <p>①認知症についての正しい知識と理解と予防について学ぶ。</p> <p>②認知症予防を目的に2つの課題を行う事で脳と体の機能を効果的に向上させる運動を学ぶ。</p> <p>内容</p> <p>認知症予防に向けた講義と運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コグニステップ・コグニラダー</li> <li>・コグニウォーク等</li> </ul>	<p>実施時期</p> <p>6月 5日 6月16日 9月から3月 (第1月曜日)</p> <p>回数</p> <p>9回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症予防講演会	<p>目的</p> <p>認知症についての正しい知識と理解と予防について学ぶことを目的とします。</p> <p>内容</p> <p>認知症予防についての講義。</p>	<p>実施時期</p> <p>3月26日</p> <p>回数</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
保健活動推進員研修(介護予防サポーター)	<p>目的</p> <p>地域で活躍している保健福祉関係者の方々に高齢者の心身の機能について理解して頂き、介護予防の必要性を学び地域の高齢者の健康づくり、介護予防の担い手となって頂くことを目的とします。</p> <p>内容</p> <p>栄養とからだについて学ぶ</p>	<p>実施時期</p> <p>7月27日</p> <p>回数</p> <p>1回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鶴ヶ峰地区 旭中央地区 高齢者福祉入居 施設連絡会	<p>目的 グループホーム等の入居者施設が多い地域の特性を活かし、顔の見える関係作りを行います。</p> <p>内容 エリア内10か所（グループホーム9、特養1）の施設と情報共有、研修を実施します。</p>	<p>実施時期 7月21日</p> <p>回数 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 育成スキル アップ研修	<p>目的 地域で活躍しているボランティアに対し介護予防についての学習会を行い、各団体に活用できることを目的とします。また、高齢化した担い手の方々が自ら健康を考え、活動できるようにフォローアップを目的とします。</p> <p>内容 介護予防についての講義 認知症予防の講演、実技</p>	<p>実施時期 8月1日 8月29日</p> <p>回数 2回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
GOGO健康！ 元気づくり教室	<p>目的 高齢者の方々が住み慣れた身近な地域で介護予防を意識し、介護予防の具体的な取り組みを始めるきっかけとなるように実施します。</p> <p>内容 栄養、口腔ケア、運動、ロコモ予防について講義と実技</p>	<p>実施時期 6月5日 6月19日 7月3日 7月17日 8月3日 8月17日 8月31日 9月12日</p> <p>回数 8回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防 活動グループ 支援連絡会	<p>目的 介護予防を目的に活動しているグループのボランティアの方々の運営と情報交換の場とし抱えている問題、課題を共有し相互の顔の見える関係作りに取り組みます。</p> <p>内容 情報交換、課題抽出、栄養についての研修</p>	<p>実施時期 3月22日</p> <p>回数 1回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鶴ピカ大作戦	目的 ①登録団体へボランティア活動の場の提供とします。 ②食器類の漂白&戸棚の清掃を行う事で、食中毒等の予防を図ります。  内容 貸室を中心とした、清掃作業。ケアプラザ周辺のゴミ拾い。	実施時期  7月13日 12月14日  回数  2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで作ろう わいわい クッキング	目的 小学生を対象に、友達作りと食育を目的として開催します。  内容 管理栄養士による季節にちなんだ調理実習。	実施時期  7月2日 3月11日  回数  2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
保存食講座	目的 食の安全や、自身の健康について「食から学ぶ」健康づくり講座として開催します。  内容 グラノーラや味噌などの保存食を作る講座	実施時期  4月27日 1月27日  回数  2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で遊ぼう	目的 鶴ヶ峰地区にある保育園などが中心となり、親子の心身の健康の為開催します。また地域の親子同士の交流の場としていきます。  内容 おやつ試食コーナーやおたのしみコーナー、遊びのコーナーを設けて鶴ヶ峰地区の未就園児と親子が保育士と遊ぶ時間を持ちます。	実施時期  9月14日  回数  1回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭ふれあい 区民まつり 行政・PR コーナー 出展事業	<p>目的 区内ケアプラザのPRの為、行政・PRコーナーに出展。</p> <p>内容 区内ケアプラザの周知を行なうため、行政・PRコーナーにて子どもや保護者を対象に行います。</p>	<p>実施時期 10月15日</p> <p>回数 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいまつり	<p>目的 ①幅広い世代の方に、広く地域にケアプラザを知って頂く為を実施します。 ②ボランティア活動の発表の場とします。</p> <p>内容 模擬店、福祉相談、演芸、手芸コーナー等</p>	<p>実施時期 11月12日</p> <p>回数 1回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サンタクロース 講座	<p>目的 ① 地域参加へのきっかけ作りとして開催します。 ② 趣味を通じての仲間づくり支援を行います。</p> <p>内容 ・サンタクロースとは ・サンタの魔法（マジック） ・サンタクロースウォーク</p>	<p>実施時期 11月25日</p> <p>回数 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おせち作り教室	<p>目的 ①地元意識の醸成 ②食育支援</p> <p>内容 ・たたきごぼう ・だてまき ・田作り ほか</p>	<p>実施時期 12月10日</p> <p>回数 1回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者 見守り事業	目的 ①地域包括支援センターの相談窓口としての周知  内容 地域包括支援センターの連絡先を記したグッズの配布	実施時期  2月6日  回数  1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者昼食会 地域サロン 連絡会	目的 会を運営しているボランティアの方々が抱えている問題、 課題を共有し相互の顔の見える関係作りに取り組みます。  内容 情報交換と課題の洗い出しをします。	実施時期  3月23日  回数  1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
成年後見制度 講演会	目的 ①成年後見制度の普及啓発を目的とします。 ②地域包括支援センター社会福祉士の役割を知ってもらう 機会とします。  内容 講演会の開催	実施時期  12月13日  回数  1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
オレオレ詐欺 撲滅 キャンペーン	目的 ①オレオレ詐欺防止の為の普及啓発を目的とします。 ②ケアプラザ(地域包括支援センター) の相談窓口としての 周知を図ります。 ③地域の消費生活推進員との連携を図ります。  内容 年金支給日に合わせ消費生活推進員と協力し消費者被害に あわないよう普及啓発活動を実施。	実施時期  6月15日  回数  1回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
回想法 思い出を語る会	<p>目的</p> <p>①認知症予防 ②地域の中での仲間づくり支援 ③会場をケアプラザではなく障害者地域作業所で行う事により、障害者理解の機会となるよう支援します。</p> <p>内容</p> <p>認知症予防を目的とした、回想法講座。 地域にある『障害者地域作業所』の喫茶コーナーを使用し開催する事により、地域への障害理解の一環となるよう努める。</p>	<p>実施時期</p> <p>1月19日 1月26日 2月2日 2月9日 2月16日</p> <p>回数</p> <p>5回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
街の パティシエと バレンタイン クッキーを 作ろう	<p>目的</p> <p>①小学生向けの夏休み期間の事業として開催 ②講師を障害者地域作業所に依頼し、ともに時間を過ごす事で、障害理解の場となるよう支援します。</p> <p>内容</p> <p>障害者地域作業所を講師に招いたクッキー作り</p>	<p>実施時期</p> <p>2月12日</p> <p>回数</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア 交流会	<p>目的</p> <p>当ケアプラザ活動にご支援・ご協力頂いたボランティアさんをお招きし、日頃の感謝の意を表すとともに、ボランティア同士の交流を目的として開催。</p> <p>内容</p> <p>①自己紹介&amp;ボランティア活動紹介、会食 ②感謝の意を込めた催し物。</p>	<p>実施時期</p> <p>3月10日</p> <p>回数</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療と福祉関係 者との勉強会	<p>目的</p> <p>福祉・保健・医療の更なる連携促進を図ります。</p> <p>内容</p> <p>医療機関の医師や看護師、薬局、訪問看護ステーション等の医療関係者と居宅介護支援事業所、サービス事業所等の福祉関係者が一緒に学ぶ勉強会の実施。</p>	<p>実施時期</p> <p>1月19日</p> <p>回数</p> <p>1回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャーと民生委員・児童委員との事例検討会	<p>目的 ケアマネジャー・民生委員・児童委員の連携とお互いの役割分担を確認し、連携し易い関係を構築します。</p> <p>内容 ケアマネジャーと民生委員・児童委員合同での事例検討会</p>	<p>実施時期 10月18日</p> <p>回数 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ケア会議	<p>目的 多職種協働し、個別ケースを検討することで、高齢者の課題解決の支援をするとともに、ケアマネジャーのスキルアップも支援します。</p> <p>内容 ケアマネジャーからの相談事例を、福祉関係者だけでなく、医療関係者や地域住民等多職種で、地域の課題として検討します。</p>	<p>実施時期 7月12日 8月31日 12月15日 3月9日</p> <p>回数 4回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
鶴ヶ峰・白根・左近山地域ケアプラザ合同ケアマネ連絡会	<p>目的 地域の居宅介護支援事業所のケアマネジャーの資質向上を目指して、研修会・連絡会を開催します。</p> <p>内容 左近山地域ケアプラザ・白根地域ケアプラザとの共催で、研修会を実施。</p>	<p>実施時期 5月、7月、9月 11月、1月 第3火曜日</p> <p>回数 5回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
事業所訪問	<p>目的 地域の居宅介護事業所及び関係機関と連携しやすい関係を構築します。</p> <p>内容 地域の関係機関を訪問し、地域包括支援センターとしての役割を説明、理解を得ると共に、各関係機関の現状や抱えている問題点等を把握します。</p>	<p>実施時期 通年</p> <p>回数 427回</p>



# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防ケアマネジメント研修	<p>目的 担当地域のケアマネジャーのスキルアップを目的に研修を行います。</p> <p>内容 自立支援に向けた計画書の作成についての研修</p>	<p>実施時期 9月19日</p> <p>回数 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりステーション（公園de健幸づくりプロジェクト）	<p>目的 公園を利用し、ロコモティブシンドローム予防となるスクワットでの筋力トレーニングやバランス能力の向上に努め、体力向上と地域の方々のつながりづくりを目的とします。</p> <p>内容 公園で体操を実施 活動グループの立ち上げ</p>	<p>実施時期 通年</p> <p>回数 随時</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
エンディングノート	<p>目的 前期高齢者へシニアライフを考えてもらうきっかけづくり</p> <p>内容 旭区版エンディングノートを活用し、若葉台、笹野台、川井、南希望が丘の各地域ケアプラザと合同で講座を開催する</p>	<p>実施時期 10月20日 10月31日 11月14日</p> <p>回数 3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
居宅介護支援事業所主任ケアマネジャー交流会	<p>目的 旭区内12地域包括支援センター主任ケアマネジャー共催で、居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーへの支援を行うために、交流会を開催します。</p> <p>内容 ①居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーの情報共有や意見交換。 ②事業所の垣根を越えた関係作り。</p>	<p>実施時期 6月26日</p> <p>回数 1回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護技術講座	<p>目的 地域の担い手育成を目的に基本的介護技術の習得を図ることを目的とします。</p> <p>内容 椅子からの立ち上がりやベットから椅子への移乗介助、車椅子の基本的取り扱いと操作方法について講義と実技</p>	<p>実施時期 10月26日</p> <p>回数 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アルツハイマーデー街頭キャンペーン	<p>目的 関係機関と共に地域住民へ認知症の啓発活動と相談窓口の周知する。</p> <p>内容 関係機関と共に地域住民へ認知症の啓発活動のためのグッズを配布する。</p>	<p>実施時期 9月21日</p> <p>回数 1回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
鶴ちゃんページ作成	<p>目的 ・地域の新しい資源の掲示及び既存の団体の情報を更新していく。 ・ケアマネジャーに配布し、インフォーマルサービスのプランの位置づけ、地域との連携を促していく。</p> <p>内容 ・地域資源の情報の更新。 ・2018年度版の「鶴ちゃんページ」を作成し、ケアマネジャーへ配布。</p>	<p>実施時期 1月頃～</p> <p>回数 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鶴ちゃんマップ作成	<p>目的 地域アセスメントの一環として各町内会毎の地域資源の情報を入れたマップを作成。</p> <p>内容 各町内会毎のマップを作成し、人の集まる場所、買い物、地域資源、空き家、ケアプラザで把握出来ていない人物、1人暮らし高齢者等を落とし込み、アセスメントを行なう。</p>	<p>実施時期 8月22日 9月13日 10月25日</p> <p>回数 3箇所</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生活支援体制整備事業周知活動	<p>目的</p> <p>単一の町内会、老人クラブ、地域のサロン、食事会の参加者等に生活支援体制整備事業についての周知を行なっていく。</p> <p>内容</p> <p>生活支援体制整備事業の周知活動を行ない、地域からの相談に繋げていく。</p>	<p>実施時期</p> <p>4月10日 6月5日、10日、15日、18日 8月22日 9月2日、13日 10月10日、14日、20日 11月16日、23日 12月2日、3日、21日 1月6日 2月8日、11日 3月10日</p> <p>回数</p> <p>20箇所</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャーへのニーズ調査	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーの捉える個別課題及び地域課題を把握する。</li> <li>・「鶴ちゃんページ」を配布し、インフォーマルサービスの情報を提供していく。</li> </ul> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の居宅介護支援事業所を訪問し、ケアマネジャーの捉える個別課題、地域課題のニーズ調査を行なう。</li> <li>・ケアマネジャーと地域支援での連携体制を構築できるようにする。</li> </ul>	<p>実施時期</p> <p>4月7日、11日 (2回) 27日 5月6日、11日 6月2日、16日、27日 7月20日 8月4日 9月11日 10月13日</p> <p>回数</p> <p>14箇所</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
単一町内会へのニーズ調査	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単一の町内会を選定しニーズ調査を実施。地域住民の思いや考え、感じていることを知り、それを基盤として地域の助け合い支え合いの仕組みを作っていく</li> <li>・ニーズ調査により抽出したニーズを基に地域住民と課題を検討、協議体とし、地域の繋がりづくりを行なっていく。</li> </ul> <p>内容</p> <p>今回のモデル地区として西川島町中田町内会を選定。アドバイザーとともに作成したアンケートを全戸配布し、実態調査を行なう。</p>	<p>実施時期</p> <p>11月10日 2月10日 3月14日</p> <p>回数</p> <p>3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベビーヨガ講座	<p>目的</p> <p>通年で開催しているリトミック講座の対象児（1歳半～）よりも、もう少し若い年齢の乳幼児を対象にしたベビーヨガ講座を開催。</p> <p>内容</p> <p>ママと子ども、双方で行えるヨガを講師から学ぶ。</p>	<p>実施時期</p> <p>3月19日</p> <p>回数</p> <p>1回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
鶴ヶ峰地区支え合い連絡会	<p>目的 鶴ヶ峰地区地域福祉保健計画の推進</p> <p>内容 ・鶴ヶ峰地区第6ブロックに対し、講師を招いてマッピング研修を実施。 ・第3期地域福祉保健計画の振り返りの実施。</p>	<p>実施時期 5月30日 9月5日 12月6日 1月29日</p> <p>回数 4回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鶴ヶ峰地区障がい者地域作業所連絡会	<p>目的 鶴ヶ峰地区支えあい連絡会の分科会としての位置づけ。鶴ヶ峰地区の地域作業所の連携、相互協力体制の推進を図る。</p> <p>内容 ・第3期旭区地域福祉保健計画の推進 ・地域と障がい者作業所との連携について</p>	<p>実施時期 3月22日</p> <p>回数 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GOGO健康！元気づくり出張講座	<p>目的 高齢者の方が健康づくり、介護予防を意識し介護予防に取り組むきっかけづくりを目的とする。</p> <p>内容 ・高齢者の栄養について講義 ・高齢者への運動指導実技</p>	<p>実施時期 3月27日 3月18日</p> <p>回数 2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭区よりそい型事業「あさひ教室」	<p>目的 ・横浜市から委託を受けたNPO法人「リロード」の後方支援。生活困窮状態にある中高生の学習支援事業。</p> <p>内容 ・18時半から20時半にかけて、大学生等のボランティアが中高生の学習支援を実施。その際に、調理室を使用し、学生自身が自らおにぎりを握り、食事作りを学ぶ。</p>	<p>実施時期 10月26日 1月11日 2月22日</p> <p>回数 3回</p>